

# 黒潮

平成20年5月発行

## 第103号

### 和歌山県看護協会会報

— 総会特集号 —



粉河寺



根来寺



和歌山城



紀三井寺

桜めぐり

撮影 北川 律子

## CONTENTS

• 総会にあたって	2	地区支部報告	11
• 平成20年度 通常総会プログラム		• 保健師のコーナー	16
理事会報告	3	• 助産師のコーナー	16
第一号議案～第四号議案	4	• 看護師のコーナー	17
第五号議案	5	• リレーエッセイ	17
第六号議案・第七号議案	6	• 私の○○	17
職能委員会報告	7	• My Hospital	18
常任委員会報告	8	• トピックス・2008	19
特別委員会報告	9	• 和歌山県看護協会の動き	20

会員総数	5,112名
名誉会員	1名
保健師	130名
助産師	174名
看護師	4,140名
准看護師	667名
平成20年5月1日現在	

# 平成 20 年度通常総会の開催にあたり

社団法人和歌山県看護協会

会 長 谷 眞 子

会員の皆さまには、平素から本会事業に対するご支援とご協力に感謝申し上げます。

19 年度を振り返りますと通常の県看護協会事業に加えて、「看護の日・看護週間」中央行事としての「看護フォーラム」を5月12日(土)和歌山県民文化会館に於いて開催しました。すでに日本看護協会ニュースに掲載されましたが厚生労働省医政局長、看護課長はじめ日本看護協会会長、役員の出席のもとに、会員・看護学生、一般の方々、中高校生等多くの方々の参加を得て盛大に開催することができました。また、日本看護学会「看護管理」学術集会を10月25日(木)、26日(金)に開催し、全国各地から2,000人におよぶ参加を得て無事終了しました。このような全国規模の大きい事業が開催できましたのも会員の協力があったることと厚く感謝申し上げる次第です。

さて、少子高齢化社会を迎えわが国の保健医療福祉において、20年度からは、後期高齢者医療制度や特定健診・特定指導の開始や広域にわたる医療機関情報の公表、医療機関の機能分化と地域連携、在宅ケアの更なる推進など多様な施策がより具体的に展開される大きな変革の時を迎えています。まさに変革の時代を迎えています。

保健・医療・福祉の分野において、従来より一層看護への役割期待は高まっており、看護職の働く職場も様々な影響を受けて大変忙しい状況になっております。

県民の期待に応えるためには、看護職が意欲を高め、活き活きと働き、専門職としての能力が発揮できるた

めの職場環境づくりに全員で力を合わせて取り組むことが必要です。

そこで、20年度のスローガン(案)を「激動の時、看護の力を強化・結集して県民の期待に応えよう」としました。重点事業(案)には①看護職の確保と職場定着の促進②看護三職能の専門性の強化③在宅医療・看護の推進④看護職のキャリア形成に必要な教育体制の構築と継続教育の実施⑤災害時の看護支援体制の強化⑥会員の組織強化を挙げ、事業計画(案)を示しております。また、和歌山県看護協会にとって大きな課題であります新看護研修センターの建設に関しては重要議案として上程しております。この議案については19年度通常総会からの継続審議で、1年間各地区や職場において議論していただいているところです。看護専門職としての資質向上と併せて21世紀社会に必要な看護領域の開発と展開や十分能力を発揮し働き続けられる職場づくり活動の拠点として看護協会・看護研修センターとしてのあり方や会員が誇りを持ち続けられる等の視点に立ち会員一人ひとりが将来を見通して決定していただきたいと存じます。

この通常総会をもって会長はじめ一部役員が交替し、新体制になります。

新しいリーダーのもとに、会員が一人ひとりが看護専門職として誇りをもち力を結集することによって時代の変化に対応した看護専門職能団体としての看護協会へと発展していくものと確信いたしております。

今後とも更なるご協力ご支援をお願い申し上げます。

## 平成 20 年度 和歌山県看護協会

● 日 程 : 平成 20 年 6 月 7 日 ( 土 )

12:20	開 場
12:50	オリエンテーション
13:00	開 会 物故会員に黙とう 会長挨拶 来賓祝辞(来賓紹介・祝電披露) 和歌山県看護協会会長表彰 (休 憩)
13:50	議長団選出 議事録署名名人選出 平成 19 年度総会議事録朗読
14:00	報告事項 理事会報告

## 通常総会プログラム

● 場 所 : 和歌山県民文化会館 小ホール

	職能委員会報告 常任委員会・特別委員会報告 地区支部報告 提出議題審議 (第一号議案～第七号議案)
16:15	選 挙 新役員紹介 旧役員への謝辞 旧役員の挨拶 綱領宣言 看護協会歌合唱
16:30	閉 会

# 理事会報告

## I 理事会等開催状況

### 1. 常務理事会

回	開催日	時間	出席者
			常務理事
1	平成19年4月25日	10:00～12:10	5
2	平成19年6月20日	13:30～17:00	7
3	平成19年8月7日	10:00～12:30	7
4	平成19年11月6日	10:00～12:30	6
5	平成20年2月5日	13:30～17:30	7
6	平成20年3月28日	10:00～12:30	7

### 2. 理事会

回	開催日	時間	出席者			
			常務理事	理事	監事	事務局
1	平成19年4月25日	15:15～17:40	5	8	2	2
2	平成19年6月5日	15:20～16:40	6	9	2	2
3	平成19年7月4日	10:00～12:30	7	9	2	2
4	平成19年8月7日	13:30～16:00	7	9	2	2
5	平成19年11月6日	13:30～18:00	6	7	2	2
臨時	平成19年12月13日	13:30～16:30	5	8	2	2
6	平成20年3月28日	13:30～17:00	6	7	2	2

### 3. 理事・各委員長・地区支部長合同開催状況

回	開催日	時間	出席者				
			常務理事	理事	監事	委員長	事務局
1	平成19年4月25日	13:30～15:00	5	8	2	11	2
2	平成19年7月4日	13:30～16:30	7	9	2	11	2

### 4. 代議員会開催状況

回	開催日	出席者
		代議員
1	平成19年5月9日	25

## II 理事会主な協議事項

#### 第1回理事会 平成19年4月25日(火) 15:15～17:40

- 報告事項
  - 第1回法人委員会報告について
  - 看護フォーラムの進捗状況について
- 協議事項
  - 平成18年度事業実施について
  - 平成18年度会計決算と監査報告について
  - 平成19年度予算について
  - 新看護研修センターの土地取得、建設について総会への提案に関して  
以上承認される

#### 第2回理事会 平成19年6月5日(火) 15:20～16:40

- 協議事項

- 訪問看護の推進に関する事業積立金について
- 事務長人事について  
以上承認される

#### 第3回理事会 平成19年7月4日(水) 10:00～12:30

- 確認及び協議事項
  - 組織について 確認  
役員の位置づけ
  - 平成19年度通常総会決議に基づく事業の実施について
    - セカンドキャリア会員の協会事業への協力について
    - 公益社団法人としての申請について平成19年度準備期間として検討し平成20年12月以降に申請する。
    - 新看護研修センター推進に関する事項  
看護研修センター将来構想検討委員会から新看護研修センター建設推進委員会へ委員会名の変更について
    - 日本看護協会が開催する「生活習慣病予防活動支援プログラム」研修へ保健師職能からの参加について
    - 看護管理者教育課程セカンドレベルの教育課程開設の準備
    - 日本看護学会「看護管理」開催への協力について
    - 訪問看護推進事業準備基金の運用に関する規定について
- 第7号議案の継続審議事項の扱いについて
- 常任・特別委員会への諮問事項について
- 平成19年度地区支部活動及び助成金について
- 平成20年度本協会・県協会の運営に対する提案・要望について  
以上承認される

#### 第4回理事会 平成19年8月7日(火) 13:30～16:00

- 報告事項
  - 法人委員会報告について
  - 都道府県職能委員長会報告について
  - 地区別施設会員代表者会開催予定について
  - 和歌山県ナース章の推薦について
- 協議事項
  - 看護研修センターに関すること  
以上承認される

#### 第5回理事会 平成19年11月6日(火) 13:30～18:00

- 報告事項
  - 地区別法人委員会・都道府県職能委員長会報告について
  - 平成19年度中間監査報告及び事業経過報告について
- 検討事項
  - 看護研修センター建設に関することについて
  - 平成20年度事業に向けて提案・要望事項について  
以上承認される

#### 臨時理事会 平成19年12月13日(木) 13:30～16:30

- 看護研修センター建設に関することについて

#### 第6回理事会 平成20年3月28日(金) 13:30～17:00

- 協議事項
  - 平成20年度事業計画(案)について
  - 平成20年度予算(案)について
  - 看護研修センターについて  
以上承認される

- 第一号議案 平成19年度事業報告(案)  
 第二号議案 決算報告(案)及び監査報告(案) ※内容は総会要綱に掲載

第三号議案 **平成20年度和歌山県看護協会のスローガン(案)**  
**「激動の時、看護の力を強化・結集して県民の期待に応えよう」**

第四号議案 **平成20年度事業計画(案)**

重点事業(案)

1. 看護職の確保と職場定着の促進
2. 看護三職能の専門性の強化
3. 在宅医療・看護の推進—安心して地域で暮らせるために
4. 看護職のキャリア形成に必要な教育体制の構築と継続教育の実施
5. 災害時の看護支援体制の強化
6. 会員の組織強化

項目	目標	事業および内容
I 組織に関する事項	1) 組織の強化	1) 会員数の増加・拡大 目標 5,800人 ① 入会促進ため看護教育機関への働きかけ ・看護学校等教育機関の行事への参加 ・和歌山県看護教育機関連絡協議会と連携 ② 会員研修の充実 ・会員・非会員区別なく「倫理」に関する研修を実施 ③ セカンドキャリア会員の増加促進 ④ 未加入施設等へ会報「黒潮」送付 2) 地区支部の連携強化 ① 連携のための協議と情報交換 ・地区支部単位施設代表者会議の開催 ・事業展開のための要望・提案 ② 助成金の交付 ③ ホームページの活用(地区支部のページ) ・eメール・インターネットの活用 3) 和歌山県看護協会個人情報保護規定の遵守 1) 新入会員オリエンテーション 2) 看護者の倫理綱領の普及の促進 会報「黒潮」発刊時 ちらしとして配布
	2) 会員意識の高揚	
I-2 組織の運営	1) 円滑な運営	1) 諸会議に関すること ① 総会 年1回以上 ② 常務理事会 年6回 ③ 理事会 年6回 ④ 理事・各委員長合同会議 年2回 ⑤ 代議員会 年1回 ⑥ 職能委員長会 年2回以上 ⑦ 各委員会(常任・特別)適宜 ⑧ 職能別集會 年1回 各会議の効果的な運営を図る 2) 再入会者への対応 1) 再入会者に対して入会金を徴収 1) 県看護協会ホームページの活用 ① 各地区支部のスペースを設定 ② 活用しやすいホームページにする 2) 県看護協会会報「黒潮」の充実年4回発行 会報「黒潮」をホームページで公開 1) 新看護研修センターの土地の確保 2) 新看護研修センターの建設に関する具体的な検討
	4) 新研修センター設立の推進	
II ナースセンター事業	1) 再就業の促進	1) ナースセンター事業の強化 ① ナースバンク事業の強化 ② ナースセンターだよりの発行 ③ ナースバンクへの登録を強化 退職時に「ご苦労さまカード」を渡す ④ セカンドキャリア開発支援事業 登録の促進と積極的なキャリア活用 登録者の研修 2) ナースバンク登録者へ研修参加案内 3) 近畿地区ナースセンター間で連携と事業に関する情報交換
	2) 看護職の職場定着の促進	1) 看護職確保と職場定着の強化 ① 離職防止相談事業の強化 ② フレッシュ研修の充実 ③ リフレッシュ研修の充実 2) 看護職員確保定着に向けた活動 (日本看護協会の構想に基づき) ① 看護職員確保定着推進事業の趣旨の周知 病院管理者・看護管理者対象とした働きかけ ② 各種ガイドブック活用の紹介 ③ 関係団体との協議
	3) 「看護の心」の普及	1) 「ふれあい看護体験」高校生対象 高校の体験学習に位置づけて実施 病院協会へ依頼し各病院での看護を体験 2) 各地区「看護の日」の事業への参加協力
	4) 訪問看護の推進	1) 訪問看護推進事業 ① 訪問看護推進協議会の開催 ② 訪問看護師・施設看護師相互研修 ③ 訪問看護師資質向上のための研修 2) 施設看護と訪問看護の連携を推進 ① 医療機関と地域との連携に関する研修

項目	目標	事業および内容
III 看護実践に関する事項	1) 各職能の業務の課題を明確化し連携の強化とサービスの充実	1) 各職能委員会活動 ① 保健師として専門領域に関する課題について検討 ・効果のある生活習慣病予防のための保健指導プログラムの推進と活用について検討 ・保健師の力量形成について検討 ② 助産師として自立した助産ケアへの質保障について検討 ・助産師外来・院内助産院の普及と質向上の推進 ③ 看護師職能として現場の課題について検討 ・職場定着への促進への対策について ・多様な勤務形態の推進に関すること ・ワーク・ライフ・バランスインテグレーションの活用に関すること ・災害時の看護師の活動 認定看護師の連携と交流 2) 各職能委員会活動を積極的に広報する 3) 各職能集会和3職能連携した研修 4) 看護業務拡大に伴う課題について検討 5) 子どもの虐待防止の推進と子育て支援 6) 高齢者の権利擁護(身体拘束ゼロ)の推進 1) 教育啓発 ① リスクマネジャーの養成 修了者に修了証を発行 ② 「看護者の倫理綱領」の推進 2) 看護事故相談窓口の設置 3) 各ガイドラインの普及推進 4) 看護職賠償責任保険の普及 5) 県内リスクマネジャー交流会の開催 6) 近畿地区リスクマネジャー交流会への協力 7) 医療安全に関わる職場環境の検討結果を会員へ周知 8) 医療安全対策特別委員会設置
	2) 医療・看護安全対策の強化	1) 災害看護に関する研修 2) 災害時のネットワークの構築 災害支援看護登録と連携 3) 災害支援看護活動の手引き作成 4) 和歌山県災害対策本部との連携と要請により災害支援ナースの派遣 5) 災害時医療救護におけるリーダー養成 6) 災害看護特別委員会の設置 7) 災害時への対応—対策費を予算化 1) 「まちの保健室」事業の充実 常設で「まちの保健室」開催 2) 「生活習慣病の予防」等事業への支援できる人材の育成 3) NPO法人和歌山保健科学センターと協力 1) たばこ対策推進者の養成 ・職場における禁煙支援リーダー育成を強化 2) 禁煙支援リーダーの活動への支援と禁煙モデル施設の推進
	3) 災害時における活動体制の構築	
	4) 新たな看護活動・地域保健活動の開発と推進	
	5) たばこ対策の推進	
IV 教育に関する事項	1) 看護の専門職として社会に期待される役割を果たすために必要な能力の開発と向上をめざす	1) 平成19年度会員教育計画の充実と実施 2) 看護管理者教育課程の充実 3) 履修記録の活用 4) 研修に関する情報公開と参加申込みを容易にする。ホームページを活用 5) 環境整備—インターネットでの文献検索の充実 6) 和歌山県立医科大学保健看護学部との連携強化 7) 和歌山県看護教育機関連絡協議会への支援 8) 研修時の駐車場確保(松下体育館以外) 9) 近畿地区看護研究会開催への協力 1) 開催予定日 平成21年2月7日(土) 1) 認定看護管理者教育課程セカンドレベルの教育機関としての申請 2) 看護管理者教育センターレベル運営委員会の設置 3) 平成21年度認定看護管理者教育課程ファーストレベル教員の体止について検討
	2) 和歌山県看護研究会	
	3) 認定看護管理者教育課程社会の変化に対応した教育プログラム	
V 社会経済福祉	1) 会員の社会経済福祉の向上	1) 看護職の確保定着の促進事業の推進 ① 看護職が働き続けられる職場づくりに関する情報提供 ナースセンター事業や看護職能委員会と協働する ② もう一つのリスクマネージメント 「看護職の労働安全衛生」指針の普及 2) 会員の慶弔・災害見舞い 1) E P Aに関する情報収集と情報提供
VI 看護制度に関する事項	1) 准看護師問題への対応	1) 准看護師の看護師養成2年課程(通信制)への入学の支援 2) 看護師養成2年課程(通信制)入学者・卒業生への支援 1) 厚労省での検討について情報収集し会員へ情報提供 2) 看護基礎教育制度の改革と卒後臨床研修制度の創設について日本看護協会と協働する
	2) 看護基礎教育の検討に関する対応	
VII 啓発に関する事項	1) 社会へ看護について啓発	1) 看護協会活動を広報する 2) 「看護の日」のPR 3) 「1日まちの保健室」地区支部で開催 4) 関係他団体への後援、協賛依頼への協力
VIII 在宅看護の推進	1) 在宅看護を推進する	1) 在宅看護の推進 2) 在宅看護推進協議会への参加 3) 訪問看護ケア連絡協議会への協力 4) 会員が開発する訪問看護ケアへの支援 5) 介護保険制度・医療制度改正に伴い在宅ケアの推進と質向上を図る 6) 訪問看護・施設看護職の交流研修 7) A L S患者の在宅療養支援 ① 難病患者ネットワークへの協力 ② 在宅人工呼吸器装着している患者家族への支援と災害時の対応
IX 関係機関への協力	1) 日本看護協会事業との連携	1) 日本看護協会との連携 ① 総会及び諸会議への出席 ② 各種調査への協力 ③ 各種事業への協力 ④ 地区別法人会、職能委員長会への出席 1) 県病院協会・県医師会・都市医師会との連携強化 2) コ・メディカル団体との協働 3) 関係機関の委員及び協議会への参画
	2) 他団体・関係機関との連携強化	

第五号議案

平成 20 年度一般会計収支予算書 (案)

平成 20 年 4 月 1 日から平成 21 年 3 月 31 日まで

△印は前年度予算より減 (単位 円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
<b>I 事業活動収支の部</b>				
1. 事業活動収入				
1) 特定資産運用収入	30,000	30,000	0	
(1) 特定資産利息収入	30,000	30,000	0	
2) 会費収入	58,000,000	58,500,000	△ 500,000	見込会員数 5,800 人 × 10,000 円
(1) 会費収入	58,000,000	58,500,000	△ 500,000	
3) 入会金収入	6,000,000	6,000,000	0	
(1) 入会金収入	6,000,000	6,000,000	0	新規入会者・再加入者 600 人 × 10,000 円
4) 事業収入	20,706,000	21,044,000	△ 338,000	
(1) 受講料等収入	18,926,000	19,144,000	△ 218,000	1. 会員研修 31 J-入 11,106,000 2. 看護研究学会 1,350,000 3. 認定看護管理者研修 6,170,000 4. 看護師研修 300,000
(2) 会館賃借料収入	300,000	300,000	0	
(3) 福祉年金事務費収入	480,000	600,000	△ 120,000	
(4) 手数料収入	1,000,000	1,000,000	0	
5) 補助金等収入	19,765,000	23,163,000	△ 3,398,000	
(1) 日本看護協会助成金収入	8,640,000	8,641,000	△ 1,000	1. 協会運営助成 500,000 2. 看護の日週間行事助成 100,000 3. 会員教育助成 1,252,000 4. 会員登録事務補助 288,000 5. 会員教育専任者雇上助成 3,000,000 6. 訪問看護教育専任者雇上助成 3,000,000 7. 看護師研修等事業申請助成 500,000
(2) 病院協会助成金収入	100,000	100,000	0	
(3) 県ナースセンター委託費収入	9,425,000	10,416,000	△ 991,000	県医務課委託費
(4) 実習指導者講習会委託事業費収入	0	3,087,000	△ 3,087,000	県医務課委託費
(5) 推進員養成研修委託事業費収入	900,000	919,000	△ 19,000	県長寿社会推進課委託費
(6) 新カリキュラム臨床指導者研修収入	700,000	0	700,000	県医務課委託費
6) 雑収入	410,000	1,410,000	△ 1,000,000	
(1) 受取利息	10,000	10,000	0	
(2) その他の雑収入	400,000	1,400,000	△ 1,000,000	1. 資料代 200,000 2. その他 200,000
<b>事業活動収入計</b>	<b>104,911,000</b>	<b>110,147,000</b>	<b>△ 5,236,000</b>	
2. 事業活動支出				
1) 事業費支出	53,144,000	55,302,000	△ 2,158,000	
(1) 人件費支出	11,550,000	11,569,000	△ 19,000	
① 給料手当支出	9,900,000	10,219,000	△ 319,000	
② 賞金支出	300,000	300,000	0	
③ 福利厚生費支出	1,350,000	1,050,000	300,000	社会保険料 他
(2) 会議費支出	7,660,000	7,160,000	500,000	
① 日本看護協会総会参加費支出	300,000	300,000	0	
② 代議員会費支出	100,000	100,000	0	
③ 総会費支出	1,450,000	1,400,000	50,000	
④ 職能集會費支出	500,000	500,000	0	1. 保健師職能集會費 150,000 2. 助産師職能集會費 150,000 3. 看護師職能集會費 200,000
⑤ 理事会費支出	630,000	630,000	0	
⑥ 合同運営会議費支出	350,000	350,000	0	1. 合同運営会議費 150,000 2. 地区別施設代表者会費 200,000
⑦ 職能委員会費支出	1,300,000	1,300,000	0	1. 保健師職能委員会費 400,000 2. 助産師職能委員会費 400,000 3. 看護師職能委員会費 500,000
⑧ 常任委員会費支出	1,530,000	1,530,000	0	1. 社会経済福祉委員会費 200,000 2. 教育委員会費 500,000 3. 広報委員会費 200,000 4. 準備委員会費 80,000 5. 推薦委員会費 150,000 6. 業務委員会費 200,000 7. 看護研究学会委員会費 200,000 8. 認定看護管理者研修 W 建設協議 200,000 9. 看護師研修 W 建設協議 200,000 3. 看護師研修 W 建設推進委員会費 150,000 4. まちの保健室運営委員会費 200,000 5. 在宅看護推進委員会費 150,000 6. 協 W 事業運営委員会費 150,000 7. 医療安全対策委員会費 150,000 8. 災害看護対策委員会費 150,000 9. 認定看護管理者研修 W 建設協議 150,000
⑨ 特別委員会費支出	1,500,000	1,050,000	450,000	
(3) 需用費支出	3,100,000	3,100,000	0	
① 旅費交通費支出	800,000	800,000	0	
② 通信運搬費支出	1,200,000	1,200,000	0	
③ 印刷製本費支出	800,000	800,000	0	
④ 調査研究費支出	300,000	300,000	0	
(4) 会員厚生費支出	411,000	411,000	0	福利厚生費・会務傷害保険料

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
(5) 教育費支出	13,200,000	13,441,000	△ 241,000	
① 会員研修費支出	7,000,000	7,000,000	0	
② 認定看護管理者研修費支出	3,800,000	3,800,000	0	ファーストレベル研修費
③ 看護師研修会費支出	500,000	500,000	0	
④ 看護研究学会費支出	1,500,000	1,741,000	△ 241,000	
⑤ 職能合同研修費支出	400,000	400,000	0	
(6) 協 W 事業費運営費支出	400,000	400,000	0	研修費
(7) 「まちの保健室」運営費支出	600,000	600,000	0	
(8) 広報活動費支出	2,000,000	2,000,000	0	
(9) 組織強化費支出	2,198,000	2,199,000	△ 1,000	1. 広報費 1,700,000 2. 啓発費 300,000 3. 地区支部助成費 1,638,000 4. 新会員リエンション 400,000 5. 地区別情報提供費 160,000
(10) 災害看護対策支援費支出	1,000,000	0	1,000,000	災害時の支援
(11) ナース W 委託事業費支出	9,425,000	10,416,000	△ 991,000	県医務課委託費 1. 再就業促進事業 2,564,000 2. 看護の心普及事業 113,000 3. 訪問看護推進事業 1,241,000 4. 需用費 179,000 5. 人件費 5,328,000
(12) 実習指導者講習会委託費支出	0	3,087,000	△ 3,087,000	県医務課委託費
(13) 推進員養成研修委託費支出	900,000	919,000	△ 19,000	県長寿社会推進課委託費
(14) 新カリキュラム臨床指導者研修費支出	700,000	0	700,000	県医務課委託費
2) 管理費支出	58,216,000	51,149,000	7,067,000	
(1) 人件費支出	31,563,000	29,196,000	2,367,000	
① 役員報酬支出	10,450,000	8,000,000	2,450,000	
② 給料手当支出	16,800,000	16,800,000	0	
③ 賞金支出	100,000	100,000	0	
④ 退職金給付支出	1,213,000	1,426,000	△ 213,000	
⑤ 福利厚生費支出	3,000,000	2,870,000	130,000	社会保険料 他
(2) 需用費支出	20,806,000	16,106,000	4,700,000	
① 会議費支出	300,000	300,000	0	
② 渉外費支出	600,000	600,000	0	
③ 旅費交通費支出	500,000	500,000	0	
④ 通信運搬費支出	500,000	500,000	0	
⑤ 賃借料支出	1,756,000	1,756,000	0	システム機器等リース料 他
⑥ 借上物件賃借料支出	7,300,000	2,600,000	4,700,000	駐車場借上整備費・賃料 他
⑦ 消耗什器備品費支出	1,000,000	1,000,000	0	
⑧ 消耗品費支出	600,000	600,000	0	事務用品・消耗品 他
⑨ 印刷製本費支出	1,500,000	1,500,000	0	0.2-料 他
⑩ 光熱水料費支出	1,750,000	1,750,000	0	電気・ガス・水道・空調機保守点検料
⑪ 諸謝金支出	500,000	500,000	0	税理士報酬 他
⑫ 租税公課支出	3,500,000	3,500,000	0	固定資産税・法人税・消費税 他
⑬ 災害保険料支出	400,000	400,000	0	建物・備品火災保険料
⑭ 雑支出	600,000	600,000	0	
(3) 情報処理費支出	2,000,000	2,000,000	0	ホームページ保守・回線使用料 他
(4) 営繕費支出	1,500,000	1,500,000	0	
(5) 修繕費支出	1,000,000	1,000,000	0	
② 保守料支出	500,000	500,000	0	0
(5) 会館委託費支出	2,347,000	2,347,000	0	0
<b>事業活動支出計</b>	<b>111,360,000</b>	<b>106,451,000</b>	<b>4,909,000</b>	
<b>事業活動収支差額</b>	<b>△ 6,449,000</b>	<b>3,696,000</b>	<b>△ 10,145,000</b>	
<b>II 投資活動収支の部</b>				
1. 投資活動収入				
1) 特定資金取崩収入	7,213,000	1,426,000	5,787,000	
(1) 退職給付引当資産取崩収入	1,213,000	1,426,000	△ 213,000	
(2) 施設整備積立引当資産取崩収入	6,000,000	0	6,000,000	
<b>投資活動収入計</b>	<b>7,213,000</b>	<b>1,426,000</b>	<b>5,787,000</b>	
2. 投資活動支出				
1) 固定資産取得支出	1,000,000	1,000,000	0	
(1) 什器備品等購入支出	1,000,000	1,000,000	0	
2) 特定資産支出	18,813,000	21,356,000	△ 2,543,000	
(1) 退職給付引当資産支出	1,213,000	1,426,000	△ 213,000	
(2) 減価償却引当資産支出	0	2,230,000	△ 2,230,000	
(3) 施設整備積立金支出	17,600,000	17,700,000	△ 100,000	
<b>投資活動支出計</b>	<b>19,813,000</b>	<b>22,356,000</b>	<b>△ 2,543,000</b>	
<b>投資活動収支差額</b>	<b>△ 12,600,000</b>	<b>△ 20,930,000</b>	<b>8,330,000</b>	
<b>III 財務活動収支の部</b>				
1. 財務活動収入				
<b>財務活動収入計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
2. 財務活動支出				
<b>財務活動支出計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>財務活動収支差額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>IV 予備費支出</b>	<b>2,000,000</b>	<b>1,089,000</b>	<b>911,000</b>	
<b>当期収支差額</b>	<b>△ 21,049,000</b>	<b>△ 18,323,000</b>	<b>△ 2,726,000</b>	
<b>前期繰越収支差額</b>	<b>40,584,000</b>	<b>31,030,000</b>	<b>9,554,000</b>	千円未満切捨
<b>次期繰越収支差額</b>	<b>19,535,000</b>	<b>12,707,000</b>	<b>6,828,000</b>	

(注 1. 借入金限度額 0 円  
2. 債務負担金 0 円)

## 第六号議案

### 和歌山県看護協会定款の一部改正について（案）

- 役員（理事）について（第11条第1項第1号）
- 理事（専務理事、常任理事）について（第11条第2項）

現 行	改 正 案
（種別及び選任） 第11条 この法人に次の役員を置く。 （1）理事 18人 （2）（略） 2 理事のうち、1人を会長、1人を第1副会長、1人を第2副会長、1人を専務理事、1人を常任理事、1人を書記長、3人を職能理事（保健師、助産師及び看護師）、8人を地区理事、1人を全区理事（准看護師）とする。	（種別及び選任） 第11条 この法人に次の役員を置く。 （1）理事 18人以内 （2）（略） 2 理事のうち、1人を会長、1人を第1副会長、1人を第2副会長、1人を書記長、3人を職能理事（保健師、助産師及び看護師）、8人を地区理事、1人を全区理事（准看護師）とする。 なお、専務理事1人、常任理事1人を置くことができる。

## 第七号議案

### 看護研修センターの土地取得と建設計画について（案）

平成18年度通常総会において、看護研修センターの移転について検討することを承認いただきました。このことにより看護研修センター将来構想検討委員会において、移転先候補地について下記のとおり種々検討を重ねた結果、予定地として海南市北赤坂台3番地内が最適であるとの結論から平成19年度通常総会に用地取得と建設に伴う資金計画として、各会員に預託金をお願いして資金づくりを進めていくことを提案したところ、預託金返還計画の実施詳細や建設場所及び建設規模等について再検討することで、継続審議事項となった。

#### （建設予定候補地の選定検討事項）

移転先の条件として

- 100台程度の駐車スペースが確保できる。
- 必要な専用教室を確保できる。
- 安全である。（地震発生等）
- 交通の便がよい。

（高速道路から近い、JR特急が止まる駅から近い）

等の条件をクリアすることや地価が比較的安価であることが必要なことから、和歌山市における公共用地（つつじヶ丘や売却可能な県有地）の現地調査及び和歌山市周辺市町村における公共用地の現地調査を平成18年度中に実施してまいりましたが、これらの諸条件や比較的安価な土地候補地についての選定結果は、海南市北赤坂台となったところです。その後、平成19年度においても引き続き他に候補地がないか探索いたしましたが、現在までのところ他に諸条件にあった候補地がございません。

しかしながら、用地購入予定額を計上するためには、候補地の特定が必要なことから、現状において海南市北赤坂台の候補地とさせていただきます。

平成19年度から看護研修センター将来構想検討委員会を看護研修センター建設推進委員会に改めて、継続審議事項について再度検討を重ねてきた結果に基づき提案します。

#### 1. 看護研修センター予定地

海南市北赤坂台3番地内一部  
3,307.1平方メートル（下図参照）

#### ・アクセスについて

和歌山市内中心街から車で約30分

海南駅から車で約10分

阪和自動車道海南東インターから約5分

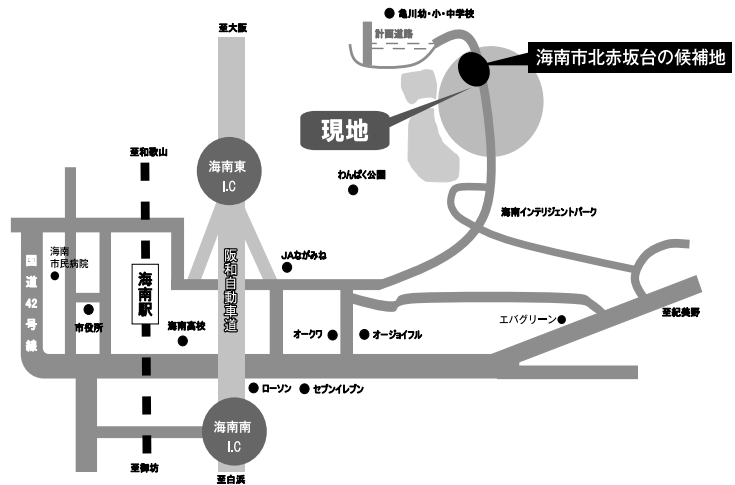
阪和自動車道海南インターから約15分

橋本市内から車で約1時間

バス 海南駅から北赤坂台（片道200円）

#### ・土地購入代金について

133,933,905円



## 預託金制度について

#### （会員から預託金の拠出をしていただく目的）

新看護研修センター建設及び建設用地取得のため、第一期預託金計画及び第二期預託金計画により資金の確保を行う。

#### 1. 第一期預託金について

新看護研修センター建設に係る用地取得に要する資金を確保するため。

- 1) 施設会員は、各施設の会員1人当たり23,000円の預託金を平成21年度内にまとめて納入するとともに、第一期預託金報告書を（社）和歌山県看護協会に提出していただく。  
ただし、預託金の納入については銀行振込により指定口座に入金していただく。

- 2) 個人会員は、23,000円の預託金を平成21年度内に納入するとともに、第一期預託金報告書を（社）和歌山県看護協会に提出していただく。  
ただし、預託金の納入については銀行振込により指定口座に入金していただく。

- 3) 第一期預託金の納入後における預託証書の発行について  
施設会員及び個人会員から（社）和歌山県看護協会に納入のあった第一期預託金について、それぞれの会員個人別に預託証書を発行する。

- 4) 第一期預託金の返還について（預託金の返還は無利子扱いとする。）  
第一期預託金については、原則として会員の間は返還しないものとする。  
ただし、退職・脱会等で会員でなくなった方には、第二期預託期間（平成24年度）終了後、3ヵ年据え置いたのち、平成25年度からの新規会員の預託金をもって、平成28年度から順次全額を返還していく。  
（ただし、死亡会員にはその都度、被相続人に返還する。）

ただし、預託金の納入については銀行振込により指定口座に入金していただく。

## 2. 第二期預託金について

新看護研修センター建設に要する資金を確保するため。

- 1) 施設会員は、各施設の会員1人当たり20,000円の預託金を平成22年度内、平成23年度内、平成24年度内にそれぞれまとめて納入するとともに、第二期預託金報告書を納入年度毎に（社）和歌山県看護協会に提出していただく。  
ただし、預託金の納入については銀行振込により指定口座に入金していただく。
- 2) 個人会員は、20,000円の預託金を平成22年度内、平成23年度内、平成24年度内にそれぞれ納入するとともに、第二期預託金報告書を納入年度毎に（社）和歌山県看護協会に提出していただく。

- 3) 第二期預託金の納入後における預託証書の発行について  
施設会員及び個人会員から（社）和歌山県看護協会に納入のあった第二期預託金について、それぞれの年度別・会員個人別に預託証書を発行する。
- 4) 第二期預託金の返還について（預託金の返還は無利子扱いとする。）  
① 退職及び脱会された方には、第二期預託期間（平成24年度）終了後、3ヵ年据え置いたのち順次全額を返還していく。（ただし、死亡会員にはその都度、被相続人に返還する。）  
② 現会員には、第二期預託期間（平成24年度）終了後、5ヵ年据え置いたのち平成30年度から平成40年度までの11ヵ年計画で返還していく。（原則として年齢の高い会員から返還する。）  
※ 返還資金には、各会員から毎年度納められている施設整備積立金2,000円と新規入会金の10,000円を返還金に充当する承認を得て返還していく予定です。（ただし、返還が本格的になる平成30年度からは、従来からの施設整備積立金2,000円を5,000円に値上げをお願いしたい。）

# 職 能 委 員 会 報 告

## 保 健 師 職 能 委 員 会

委員長 川 口 江 美 子

- 回数 ①保健師職能委員会 6回 ②施設研修 1回  
③三職能委員長会 3回 ④三職能合同集会 1回

### ● 審議事項及び活動内容

#### 1. 活動方針

- 1) 組織の増加と事業の充実 会員数の増加  
2) 災害時の保健活動対策 災害時の緊急対応マニュアルの完成  
緊急対応を要するフェーズ0（24時間以内）からフェーズ1（72時間以内）  
3) 「生活習慣病予防と保健活動」特定健診、特定保健指導実施体制整備

#### 2. 活動内容及び結果

- 職能委員会は土曜日に実施  
委員会にて、フェーズ0（24時間以内）からフェーズ1（72時間以内）に的を絞り、保健師の災害活動マニュアルを検討し、保健師に必要な知識を資料としてマニュアルを完成する。
- 施設研修……18年度に研修できていない委員が実施  
平成20年2月16日（土）  
兵庫県神戸市「人と防災未来センター」の施設研修
- 保健師職能集会、三職能合同研修会の開催

日時：平成19年9月8日（土） 場所：プラザホープ  
保健師職能集会 参加者：31人  
講演：「生活習慣病予防と保健活動」特定健診、特定保健指導実施体制整備に向けて～保健所と市町村の協働実践を通して～  
県（保健所）の立場から  
高知県健康福祉部健康づくり課 生活習慣病対策チーム長 宮崎 育子 氏  
市の立場から  
香南市役所 保健医務課 国保老人医療係 主任保健師 伊藤祐美子 氏  
三職能合同研修会  
シンポジウム「医療制度改革の中で看護の現場はどう変わってきているか」  
シンポジスト 「7:1をとりいれて看護はどう変わったか」  
済生会有田病院看護部長 野村眞佐子 氏  
「地域連携室での看護師の活動」  
和歌山県立医科大学附属病院 敷下 八重 氏  
「平成20年度からの特定健診・特定保健指導について」  
和歌山県福祉保健部健康づくり推進課 富田 容枝 氏  
講演 「医療制度改革における今後の看護職の課題と展望」  
講師 近大姫路大学 看護学部長 岡谷 恵子 教授

## 助 産 師 職 能 委 員 会

委員長 芝 佳 子

- 回数 職能委員会10回 三職能委員長会3回 三職能合同集会1回

### ● 審議事項及び活動内容

#### 1. 活動方針

- 1) 助産師の質向上を図り、自立した働き方のための必要な体制づくりの指標を作成し支援をおこなう  
2) 妊産婦や新生児への安全と支援をおこなえるようにする  
3) 県看護協会、三職能、各委員会と連携を図る

#### 2. 活動内容及び結果

- 1) 2) について  
・県内の院内助産、助産師外来の現状の把握と問題点の抽出を行なった。  
助産師が専門性を発揮できる職場作りと離職防止として混合病棟の廃止への要望  
新生児を入院患者数にカウントするための働きかけを行なった。  
・思春期保健指導の実施  
日時：平成19年12月13日 湯川中学校3年生対象  
場所：御坊市役所 参加者：職能委員7名  
・中学生対象の性教育講演会の聴講  
日時：平成20年2月28日 日高川町全中学生対象  
場所：大成中学校 参加者：職能委員7名  
・看護フォーラム「まちの保健室」でSTDなどの感染症の啓発
- 3) について  
①地区支部との連携  
・看護の日に合わせて和歌山地区支部主催「まちの保健室」に参加  
日時：平成19年5月12日（土）12:00～16:00  
場所：県民文化会館  
妊婦体験・赤ちゃん抱っこ体験・アロマテラピー・STDなど感染症の啓発
- ②三職能合同研修会開催  
日時：平成19年9月8日（土）13:00～17:00 場所：プラザホープ  
テーマ「医療制度改革における今後の看護職の課題と展望」

シンポジウム「医療制度改革の中で看護の現場はどう変わってきているか」  
講演：「医療制度改革における今後の看護職の課題と展望」  
講師：近大姫路大学 看護学部長 岡谷恵子教授

③助産師職能集会  
日時：平成19年9月8日（土）10:00～12:00 場所：プラザホープ  
\*テーマ「いま考えてみよう 助産師の働きかたと展望」  
・委員長報告  
・講演「院内助産一開設への取り組み」  
講師 南和歌山医療センター 看護部長 助産師 出立加代子先生

3. 今年度の評価及び今後の課題  
1) 「まちの保健室」へ積極的に参加することで助産師をアピールしたい。  
2) 助産師減少対策として、潜在助産師の発掘には限界があり、今後、現職の助産師の定着と離職防止策を考えていく。  
・混合病棟→産科単独病棟へのはたらきかけ  
・新生児を入院患者数にカウントするためのはたらきかけ  
・院内保育所設置へのはたらきかけ  
3) 思春期保健指導は、中学生対象の思春期講座の実施と産婦人科医の講演を聴講した。今後、助産師職能として思春期教育を継続し、保護者や助産師学生参加の学習の場になればと考える。  
4) 助産師外来・院内助産について  
県内では、南和歌山医療センター内の院内助産は対応する助産師の負担が多く現状を維持していくのが困難な状況。橋本市民病院は助産師外来検討中。  
産科医や助産師の減少により、「安全・安楽・安心なお産」の危機的状況の中、助産師外来・院内助産・パースセンター開設に向け、今後検討していく。  
5) 三職能連携をとおして、助産師職能の役割も発揮でき、今後も継続していく。

## 看護師職能委員会

委員長 峰平 一二美

- 回数 職能委員長会 9回 小委員会 10回 三職能委員会 3回  
小委員会①三職能合同研修会、看護師職能集会検討委員会  
②職能委員の活性化と看護の質向上をはかる検討委員会

### ●審議事項及び活動内容

#### I. 活動方針

1. 県民の期待にこたえるべき看護の質向上と専門職にふさわしい看護師を目指す。
2. 県看護協会、三職能各委員会、地区支部会員と有効な連携を図る。
3. 会員数 5,850 人をめざす。
4. 看護師確保定着に向けた活動をする。

#### II. 活動内容

1. 看護師職能集会・三職能合同研修会の開催  
日時：平成 19 年 9 月 8 日（土）10 時～16 時 30 分 場所：プラザホープ
- 1) 看護師職能集会  
看護師職能委員会活動報告  
和歌山県下の看護職員に対する実態調査報告  
講演：筑波大学大学院人間総合科学研究科 准教授 三木明子講師  
「看護師の為に暴力予防と対策」参加者数 105 名
- 2) 三職能合同研修会

- テーマ：医療制度改革における今後の看護職の課題と展望  
シンポジウム：「医療制度改革の中で看護の現場はどうか変わってきているか」  
シンポジスト 病院の立場から 野村眞佐子氏  
地域連携の立場から 戴下八重氏  
県福祉健康の立場から 富田容枝氏  
講演：近大姫路大学看護学部長 教授 岡谷恵子講師  
「医療制度改革における今後の看護職の課題と展望」参加者数 180 名
2. 「看護者の倫理綱領」の推進  
「やさしい倫理だより」を発行し黒潮 1 月号へ折り込みとして配布、及びホームページに掲載を行った。今後も条文毎に紹介し、啓蒙活動を行う。
  3. 看護職子育て支援の実態調査  
対象：和歌山県の 50 施設 看護管理者及び子育て中の看護師

#### III. 評価

看護師職能集会は、参加者の 92% が講演内容を良いと答え、暴力予防対策が職場で役立つという意見が多かった。また、「看護職子育て支援の実態調査」の結果は、看護協会に提言し、行政への働きかけの資料とした。看護職がいきいきと働きつけられる職場づくりは、看護の質向上にもつながり、今後も継続しなければならない課題である。

## 常任委員会報告

### 社会経済福祉委員会

委員長 児玉 百合子

- 委員会開催回数 8回

### ●審議事項および活動内容

1. 禁煙支援リーダー養成研修会（3回） 協力員として参加
2. 和歌山県下における看護職に対する離職および定着の実態調査

#### 【結果】

平成 19 年 9 月～10 月で和歌山県下の 32 施設で勤務している、看護職 1,000 名にアンケート調査を依頼した。（有効回答率：91.8%）  
卒後 1～4 年：10% 卒後 5～9 年：14% 卒後 10～14 年：19%  
卒後 15～19 年：24% 卒後 20 年以上：28%  
今までに仕事を辞めたいと思ったことがあるかないかという質問に対しては：88% ない：12%  
辞めたいと思ったことがある時期については  
卒後 1 年未満：18% 卒後 1～4 年：31% 5～9 年：23%

卒後 10～14 年：12% 卒後 15～19 年・20 年以上：8%

と卒後 1～4 年がもっとも多かった。

辞めたいと思った理由の中では、1 位は「精神的にゆとりがない」42%、続いて「勤務時間に終わらない」34%、「人間関係」32%、「医療事故やヒヤリハットを起こさないか不安である」27%、「業務量が多い」と「自分の能力の限界」26%であった。  
辞めたいと思わない理由では、1 位は「仕事が好き」52%、次に「経済的理由」32%であった。

辞めたいと思ったが辞めなかった理由としては、「経済的な理由」が最も多く 36%、次に「支えになった人がいた」23%、「どこで働いても同じ（あきらめ）」16%、「仕事が好き」7%「部署異動などの環境の変化」6%であった。支えになった人は、友人：28%、家族：24%、同僚：19%、先輩：14%、上司：10% の順で、その他：5%として患者や医師があった。

### 教育委員会

委員長 松宮 克明

- 回数 8回

### ●審査事項及び内容

平成 19 年度は新人教育、看護共通研修Ⅰ、看護共通研修Ⅱ、看護管理、専門領域の 5 つの枠組みで 35 の教育研修の企画・運営・評価を行いました。その内、定員数を大きく割れ込む企画が 5 企画あり研修の終了後の評価で問題点を抽出し次年度に採用するかどうかを検討しました。希望の多かった研修につきましては次年度も企画する予定です。今後とも会員の皆様が進んで研修に参加できるよ

うに努力して行きますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。

平成 20 年度の教育計画プログラムの企画では、平成 19 年度の研修評価を基に看護者として何を学ぶのかを意識するとともに、会員の皆様へのニーズの高い研修を企画するように検討し、継続して実施する研修に加えて、マンネリ化を防ぐため企画・研修内容を考え講師の選択も行いました。継続して実施する研修に加えて新しい企画も準備していますので是非たくさんの会員の皆様に参加していただきたいと思います。

### 広報委員会

委員長 八幡 春美

- 回数 8回

### ●審議事項及び活動内容

1. 和歌山県看護協会会報「黒潮」の発行（第 100～103 号）
2. 県看護協会の動向を掲載し、各職能委員からのコーナー・看護協会委員会のコーナーを継続。
3. 「My Hospital」「リレーエッセイ 友達の輪」「私の○○」など

のコーナーを継続し、読者参加型の紙面作りに努めた。

5 月には看護フォーラム、10 月には日本看護学会などの中央行事が和歌山で開催され、取材に奮闘し、参加者の生の声を掲載した。「トビックス」のコーナーでは、喫煙や災害看護など様々な分野での最新情報を発信し、会員の皆様へ向けたタイムリーな情報提供に努めた。

### 準備委員会

委員長 寺本 ゆみ

- 回数 3回

### ●審議事項及び活動内容

1. 平成 19 年度和歌山県看護協会通常総会は、平成 19 年 6 月 9 日に開催されトラブルなく無事に総会を終了。
2. 総会後の反省から
  - 1) 委員会報告順に待機して頂く椅子に委員会名を明示して混乱しないようにする
  - 2) 事務局との役割を明確にする

- 3) 花束置き場・12 時開場などの表示用紙の作成
- 4) 議案採択時の人数カウント表の作成ならびに集計のさいの電卓を準備物品に追加する
- 5) 展示のチラシについては、総会の運営に支障のないように人的資源の検討を行う
- 6) 次回、総会の役割分担の決定  
本年度も総会がスムーズに運営されるよう、委員一同努力致しますので会員の皆様のご協力をお願い致します。

## 推薦委員会

委員長 中林正良

- 回数 6回
- 審議事項及び活動内容  
委員会において、平成20年度改選役員、委員、平成21年度代議員を下記のとおり推薦いたしました。
- ◎平成20年度役員理事推薦者（敬称略）
  - ・会長 木村佐多子
  - ・第二副会長 高岸壽美
  - ・常任理事 葛葉まさ系
  - ・保健師職能委員長 西岡倫代
  - ・地区理事（支部長兼任）
    - 伊都地区 岩崎留美子
    - 那賀地区 丸山昌子
    - 有田地区 中島和美
    - 日高地区 田中澄代
    - 田辺地区 澤越純子
  - ・全区理事 宮井千佳代
  - ・監事 井藤浜代
  - ・監事 鈴木俊男
  - ・保健師職能委員 山縣由紀
  - 寺本敦子
  - 弓庭喜美子

- ・助産師職能委員 前真紀子
- ・看護師職能委員 政ヶ谷賀子
- 岡田千加
- 岡村かすみ
- 嶋津覚
- 藤本美幸
- 山口宣子
- 山本美由紀
- 塩路有理
- 座間晶子
- ・推薦委員
  - ◎平成21年度代議員推薦者（役員・8地区支部）
    - ・会長 木村佐多子
    - ・第一副会長 柏木真弓美
    - ・第二副会長 高岸壽美
    - ・常任理事 葛葉まさ系
    - ・書記長 小田垣弥智世
    - ・保健師職能委員長 西岡倫代
    - ・助産師職能委員長 芝佳子
    - ・看護師職能委員長 峰平一二美
    - ・全区理事 宮井千佳代
    - ・伊都地区 岩崎留美子
    - （補欠） 西林和
- ・那賀地区 大塚真由子
- （補欠） 大宮和美
- ・和歌山地区 柳本美紀子
- 杉本祐子
- 田中ひろみ
- 瀧口美恵子
- （補欠） 土川好美
- （補欠） 山口裕子
- ・海南・海草地区 保田崎公美
- 山崎はじめ
- （補欠） 岡崎友子
- （補欠） 高垣ふじ代
- ・有田地区 西弘夫
- （補欠） 小山希
- ・日高地区 小井静香
- （補欠） 井梅恭子
- ・田辺地区 坂生まり子
- （補欠） 北谷厚子
- （補欠） 生田依穂
- ・新宮・串本地区 北城由紀子
- （補欠） 本竹弘子
- 西

## 業務委員会

委員長 中萩規子

- 回数 9回
- 審議事項及び活動内容  
7月4日の理事・常任委員長、特別委員長合同会議で諮問された、医療・看護安全対策への取り組みとして、平成19年度医療安全管理者養成研修を開催した。また、平成17、18年度医療安全管理者養成研修終了者と、平成18年度日本看護協会主催の衛星放送医療安全管理者養成研修終了者を対象に、和歌山県リスクマネージャー交流会・フォローアップ研修会を開催した。  
平成19年度医療安全管理者養成研修では、41名が受講されアン

ケートの結果から、研修のねらいに沿った学習ができた、ほぼできたが8割を占め、研修の成果としてほぼ達成できたと考える。  
和歌山県リスクマネージャー交流会・フォローアップ研修会は、今年度初の試みであったが、65名の参加があり、情報交換の場として活発なディスカッションが行われた。アンケート結果からも、今後も交流会を継続してほしいとの意見が多く聞かれた。また、医療安全推進担当者ネットワークづくりの立ち上げとして、46名の賛同が得られた。これを基に、各施設間の交流を深め情報交換の場として活用することで、県内の医療安全対策の充実に目指していきたい。

## 看護研究学会委員会

委員長 辻あさみ

- 開催回数  
平成19年度和歌山県看護研究学会にむけて、準備委員会を看護協会会長と委員6名の構成で、学会企画および準備を目的に、平成19年5月21日より平成20年3月13日まで、計12回の委員会を開催した。
- 審議事項および活動内容  
1) 審議内容
  - ① 学会の目標、テーマおよび日程の検討
  - ② 特別講演および教育講演の講師選定
  - ③ ポスター、チラシの作成
  - ④ 抄録応募方法および参加募集方法の検討
  - ⑤ 査読依頼および選考判定用紙の検討
  - ⑥ 抄録の選考とプログラムの作成、座長選出
  - ⑦ 学会協力量員の依頼と役割内容の検討
  - ⑧ 学会当日の運営内容の検討と運営のしおり作成
  - ⑨ 学会会場の設定準備

- 学会報告  
平成20年3月8日に「気づき、発見、わたしと看護」のテーマで、和歌山県民文化会館にて和歌山県看護研究学会を開催した。参加者は412名で「全てはベッドサイドにある…」のテーマでりんくう総合医療センター急性・重症患者看護専門看護師北村愛子先生による教育講演、「やる気のでる看護研究」のテーマで新潟大学医学部保健学科教授 尾崎フサ子先生による特別講演が行われた。  
一般演題は33題（口演18題、示説13題、コンサルテーション2題）の発表があり、どの会場も活発な意見交換が行われた。学会終了後のアンケートでは、日頃の看護を見直す機会になり、研究を身近なものに感じられたという意見や、看護の原点に戻ることができたという意見などが聞かれ、参加者がより一層看護に対する知見を得たと思われる。  
今回の学会は、参加者に看護研究を複雑なもの捉えるのではなく、日頃の臨床の現場を振り返ることで看護研究に結びつくことを改めて理解する機会になった。

## 特別委員会報告

### 認定看護管理者教育(ファーストレベル)運営委員会

委員長 上田雅代子

- 回数 5回
- 審議事項及び活動内容  
1. 平成19年度認定看護管理者(ファーストレベル)教育課程の実施・評価について  
・認定看護管理者(ファーストレベル)の教育目的を達成するために、開講式を含め22日間の日程を通して6科目を15名の講師により実施した。(総会要綱資料1参照)  
・研修の評価は、受講生47名を対象に講義終了後にアンケート調査を実施した(総会要綱資料2参照)。その結果は、平成18年度同様に高い評価を得ることができた。このことは、研修内容の企画や講師の選定が研修目的に沿った結果と考える。

- 2. 平成19年度認定看護管理者(ファーストレベル)修了者へのフォローアップ研修の実施・評価について  
・平成18年度同様に看護サービス提供論と看護情報論の一部の講義をフォローアップ研修として各1日の日程で2科目を2名の講師により実施した。  
・研修の評価は、看護サービス提供論の受講生33名、看護情報論14名を対象に講義終了後にアンケート調査を実施した。(総会要綱資料3参照)。受講生の研修へのニーズが高く、臨床での課題に対する分析・判断力を高めていくために新しい知識や看護関連法規、制度などを継続的に学習していきたいという希望が多くあった。それを受けて来年度も継続して実施することを提案した。

## 在宅看護推進委員会

委員長 宮川 啓子

●回数 1回 (看護学会発表に向けての研究討議 4回)

### ●審議事項及び活動内容

在宅看護の重要性がますます高まってきている中、前年度には「病院勤務看護職員及び訪問看護ステーション勤務看護職員の意識・実態調査」に向けてのアンケートを作成した。

その膨大な資料を基にして、数字から見えてくる実態を昨年10月、和歌山県で開催された看護学会へ発表する事となり、資料作成、発表へと数人にて準備がなされた。

結果として、在宅療養を支援し推進するためには、下記の4項目が必要と認識された。

①病院看護師の在宅療養に関する知識の向上

②訪問看護師や訪問看護ステーション機能の周知

③情報提供や情報交換方法の工夫

④訪問看護師の環境調整への取り組みの必要性

その他、記述の部分については、まだまだ分析が出来ていない状況であるが、場こそ違えそれぞれに悩む看護職の実態が見えてきたことはこのアンケートの意義があったように思われる。今後の委員会での方向性に活かれば…と考える。

訪問看護推進事業としてのナースセンター事業で、病院勤務看護師と訪問看護ステーション勤務看護士の相互実習を行う中で、受け入れ先の意識が変化してきたことも聞いているが、地道に理解を深める努力が必要である。

## 准看護師委員会

委員長 谷本 節子

●回数 8回

### ●審議事項及び活動内容

・6月2日第1回研修会 10:00～12:00 会議

オリエンテーションと看護養成2年課程通信制度への進学意向調査について 委員長決定

13:00～16:00 研修委員として活動

・7月4日 13:30～16:30 第2回合同運営会議に参加

・7月7日第2回研修会 10:00～16:00 研修委員として活動

・8月18日第3、4回研修会 10:00～16:00 研修委員として活動

・9月15日第5回研修会 10:00～12:00 会議

今年度合格者の研修交流会について話し合う

2年課程(通信制)合格者の研修が必要であるかについて

特別に研修会をもつのではなく一般研修に参加でよい

13:00～16:00 研修委員としての活動

・10月6日第6回研修会 10:00～16:00 研修委員としての活動

・11月10日第7回研修会 10:00～12:00 会議

准看護師がどうすれば研修に参加しやすくなるかについて

13:00～16:00 研修委員としての活動

・1月23日 13:30～16:00 会議

来年度の准看護師研修会について

## 看護研修センター建設推進委員会

委員長 湯上 ひとみ

●回数 5回

### ●審議事項及び活動内容

平成18年度総会において、看護研修センターの移転について検討することの承認をいただいたことから、平成19年度総会で移転先及び建設計画について提案いたしました。会員からの預託金の返還実施や移転場所等について、再度検討が必要であるとの継続審議事項となりました。

平成19年度において、再度移転候補地、センター施設の規模、土地購入及び看護研修センター建設に伴う資金調達の方法について、会員の意見をいただきながら検討を重ねました。

移転候補地については、昨年度に提案した海南市北赤坂台以外にも適地がないか情報収集を行ったが、現在のところ他に候補地が見つかっていません。

海南市北赤坂台の場所については、面積が3,307.1㎡(約1,000坪)であるため、まず、駐車場100台のスペースを予定したうえで、建設可能スペースを見据えて看護研修センターを建設していく方向で検討しました。

なお、土地購入及び看護研修センター建設に伴う資金調達は、会員からの預託金をお願いし、一部不足額は銀行からの短期借入金をもって行うが、会員以外の関係先等へも積極的に寄付をお願いしていくことも検討しました。

## 「まちの保健室」運営委員会

委員長 山下 智子

●回数 11回 まちの保健室開催 4回

### ●審議事項及び活動内容

前年度に引き続き隔月(偶数月)の第3土曜日に定例開催した。今年度の目標とした地域活動拠点を拡大するために会場は看護協会駐車場建物内に加えて「わかちか広場」と「松源」に協力を得て開催した。内容は、諸計測の実施と健康面の講話や保健指導・栄養指導で住民参加型とした。そのことで「健康に関心が高まった」「相

談ができた」「心配事が解消できた」などの参加者からの声が聞かれ、生活習慣の改善のきっかけづくりとサポートができた。参加者においては、地域層・年齢層が広がった。

今後、県民がどのような健康レベルの段階においても生きがいのある生活ができるように、県民のライフサポーターとしての役割が果たせる「まちの保健室」を充実させる必要がある。又、今後もセカンドキャリア、ボランティアの方々の協力をお願いしたい。

## セカンドキャリア事業運営委員会

委員長 田村 キク代

●回数 委員会6回 セカンドキャリア支援研修会2回

### ●審議事項及び活動内容

昨年に引き続き、セカンドキャリア会員の登録者を如何にして増やすかということ今年度の重要な課題として検討しました。

具体策として

1. 研修会の実施

2. 看護協会が行う研修会への協力

3. 看護協会が行う学会への協力

4. まちの保健室への協力

以上を今年度の活動内容として取り組みました。

研修会(2回)では、退職者が受け入れやすい心や体のリフレッシュ

シュを目的とした内容の講演を計画しました。しかし参加者が集まりにくく大変苦労しました。

管理学会では協力員として参加し全国から好評を得ることが出来ました。

まちの保健室へは、看護協会より協力依頼のあった会員が参加しました。

今年度の主な反省点として

1. 研修会の案内文は、委員会としての目的を書くべきであった。

2. 看護協会事業への協力依頼が登録者全員に案内されるよう徹底されていなかった。

尚、研修会への参加は退職されている方々に広く呼びかけ、多くのご参加をいただき好評を得ましたので、来年度も続けたいと思っています。

日本看護学会「看護管理」準備委員会

委員長 鈴木 幸子

- 回数  
第38回日本看護学会－看護管理－学術集会の企画・運営を円滑に行うことを目的に18年度に引き続き7回の委員会を開催した。
- 審議事項及び活動内容  
1. 審議事項は以下の通りである。
  - ・抄録の選考とプログラムの作成、座長の選出
  - ・学会協力員の依頼と協力員の役割及び配置
  - ・特別講演講師、教育講演講師、シンポジストの受け入れ準備と進行
  - ・アトラクションの検討
  - ・学会会場の設営準備と運営
  - ・ポスター、チラシの作成
  - ・学会係員必携の作成

2. 学会の報告とまとめ  
学術集会は10月25日・26日に「看護、さらなる挑戦－育ちあう看護管理」をメインテーマとして、県民文化会館・アパローム紀の国を会場に開催した。参加者は連日2,000名以上におよび、350の一般演題の研究発表が行われ、2日間にわたる学術集会将盛会のうちに終えることができた。どの会場でも活発な意見交換が行われ、発表者はもとより参加者がより一層知見を広げ、さらに看護を発展させられる活力を得る機会になった。  
学会は、22施設からの協力員、県・市関係者、看護協会関係者など多くの皆様のご協力、ご支援により、運営することができた。準備委員会は、谷学術集会長と委員9名で構成し、1年以上をかけて準備活動を行ってきたが、11月19日の総括をもって解散した。

地区支部報告

伊都地区支部

支部長 西山 登志子

行事内容

行事名	開催日・場所	対象者	参加者数	行事内容	その他(参加者の反響・主催者の感想)
看護の日 1日まちの保健室	平成19年5月13日 オークワ高野口店	一般住民	155名	看護の日キャンペーン「1日まちの保健室」 ①健康相談 ②血圧測定 ③体脂肪測定 ④乳房自己触診法の説明 ⑤記念グッズの配布	健康に対する関心の高さがうかがえた。
総会・研修会	平成19年7月7日 九度山町 ふるさとセンター	会員	60名	1) 平成19年度伊都地区支部総会 2) 研修会「笑い：落語」桂ごころ先生	「笑い」をテーマに研修会を落語口演としました。「笑い」には、ストレスが解消され、免疫力・自然治癒力が高まる効果があるとされています。笑いの効果を実感していただきました。
老人看護月間行事	平成19年9月15日 九度山町 ふるさとセンター	会員	37名	講演：「在宅看護とは」 講師：橋本市訪問看護ステーション 南 友子先生	看護領域における訪問看護・在宅看護の占める割合の広がりに対して、社会的要求も高くなってきている。
県看護連盟紀北支部 県協会伊都地区支部 合同研修会	平成19年12月1日 九度山町 ふるさとセンター	会員	37名	講演：「あなたの力で現場は変わる」 講師：日本看護連盟常任幹事 阿津 公子先生	
平成19年度 看護研究発表会	平成20年3月1日 九度山町 ふるさとセンター	会員	93名	研究発表：5施設7題	5施設7演題の看護研究が発表され、それぞれが看護を通じて工夫しあるいは取り組んだ結果をまとめた、充実した発表会であった。
施設会員 代表者会議	平成19年8月20日 橋本市民病院	施設会員 代表者 役員	13名	1) 平成19年度和歌山県看護協会事業について 2) 平成19年度第2回法人会委員会の報告について 3) 第7号議案について 4) 意見交換	協会事業運営が行なえる事を目的として開催する。
	平成20年3月12日 橋本市民病院	施設会員 代表者 役員	7名	1) 新看護研修センターについて 2) 平成19年度和歌山県看護協会事業経過報告について 3) 平成20年度和歌山県看護協会事業にむけて 4) 意見交換	
支部役員会	平成19年7月13日 橋本市民病院	役員	6名	1) 平成19年度事業計画について 2) 老人看護月間行事について 3) その他	
	平成19年8月10日 橋本市民病院	役員	6名	1) 老人看護月間行事について 2) その他	
	平成19年9月18日 橋本市民病院	役員	6名	1) 老人看護月間行事振り返り 2) その他	
	平成19年10月16日 橋本市民病院	役員	5名	1) 県看護連盟合同研修会について 2) 看護研究発表会について	
	平成19年11月20日 橋本市民病院	役員	6名	1) 県看護連盟合同研修会について 2) 看護研究発表会について	
	平成19年12月18日 橋本市民病院	役員	6名	1) 県看護連盟合同研修会の振り返り 2) 看護研究発表会について	
	平成20年1月29日 橋本市民病院	役員	6名	1) 看護研究発表会について 2) その他	
	平成20年2月19日 橋本市民病院	役員	6名	1) 看護研究発表会について 2) 看護月間行事「1日まちの保健室」について 3) その他	
平成20年3月18日 橋本市民病院	役員	5名	1) 看護研究発表会の振り返り 2) 看護月間行事「1日まちの保健室」について 3) その他		

那賀地区支部

支部長 田伏富紀

行事内容

行事名	開催日・場所	対象者	参加者数	行事内容	その他(参加者の反響・主催者の感想)
1日まちの保健室	平成19年5月13日 ミレニアシティ岩出	一般住民 協力員・ 地区支部役員	108名 24名	1) 体重測定・体脂肪測定・骨密度測定 2) 測定結果の説明と健康相談 3) 「1日まちの保健室」のアピール	住民の「健康や生活のしかた」への関心の高まりがうかがえた。
支部役員会	平成19年6月11日 岩出保健所	地区支部役員	3名	平成19年度和歌山県看護協会那賀地区支部 総会及び研修会について 総会及び研修会について	
会計監査	平成19年6月30日				
地区支部総会 地区支部研修会	平成19年6月30日 岩出市総合 福祉センター	地区支部役員	291名 委任状 (229名)	1) 平成19年度地区支部総会 2) 地区支部研修会 講師：和医大附属病院 救急看護認定看護師 岩井真弓先生 テーマ「救急看護～救急時の対応」	救急時の対応について、具体的に学ぶことができました。
支部役員会	平成19年8月2日 岩出療育園	地区支部役員	3名	老人月間行事について	
第1回 地区別施設会員 代表者会議	平成19年8月9日 岩出保健所	地区支部役員 施設会員代表者	18名	1) 平成19年度県看護協会事業について 2) 平成19年度日本看護協会法人会員報告 3) 第7号議案について 4) 意見交換	
支部役員会	平成19年9月18日 岩出保健所	地区支部役員	3名	・看護協会への提案要望事項 ・老人看護月間行事について	
老人看護月間行事 地区支部研修会	平成19年11月11日 岩出市総合 福祉センター	地区支部会員 非会員 介護員	61名	地区支部研修会 テーマ「ホスピス」 講師 和医大附属病院副看護師長 ホスピス認定看護師 榎山美佳先生	死への過程の中で、患者さんや家族の方が生きる意味を見出すことができるケアについて学習させていただきました。
支部役員会	平成19年12月19日 岩出保健所	地区支部役員	3名	・預託金制度について	
地区別施設 代表者会議	平成20年1月17日 那賀振興局	施設代表者 地区支部役員	15名	・預託金制度について	
看護連盟紀北支部・ 県協会那賀地区支部 合同研修会	平成20年1月26日 地区支部会員 福祉センター 連盟会員	地区支部会員 連盟会員	26名	研修会 テーマ「医療制度変革の中で看護管理はどうあるべきか」 講師：日本看護連盟幹事長 石田昌宏先生	クリニカルパスの導入や看護過程の中での取り入れ方について、学習することができ、とても有意義な研修会となりました。
支部役員会	平成20年2月19日 岩出保健所	地区支部役員	3名	・「1日まちの保健室」実施について ・平成20年度和歌山県看護協会地区支部総会について	
第2回地区別 施設会員代表者会議	平成20年3月12日 那賀振興局	地区支部役員 施設会員代表者	17名	・新看護研修センターについて ・平成19年度和歌山県看護協会事業報告 ・平成20年度和歌山県看護協会事業について	

和歌山地区支部

支部長 芝田里花

行事内容

行事名	開催日・場所	対象者	参加者数	行事内容	その他(参加者の反響・主催者の感想)
地区支部役員会	平成19年4月26日 和歌浦中央病院	役員	8名	通常総会、研修会、1日まちの保健室について検討 会計監査	
1日まちの保健室	平成19年5月12日 県民文化会館 イベントホール	一般参加 助産師職能 役員・協力員	延べ497名 6名 10名	血圧測定・骨密度測定・体脂肪・血管年齢測定 健康相談、助産師の癒し	看護フォーラムと同時開催
地区支部役員会	平成19年5月23日 和歌浦中央病院	役員	5名	通常総会・研修会について 「まちの保健室」の反省	
地区支部役員会	平成19年6月13日 和歌浦中央病院	役員	6名	通常総会の準備 研修会の準備	
地区支部役員会	平成19年6月27日 和歌浦中央病院	役員	6名	通常総会の打ち合わせ、議長団との打ち合わせ 研修会の準備	
通常総会 第1回研修会	平成19年7月7日 プラザホープ 4階大ホール	会員 新旧役員 協力員	248名 10名 10名	通常総会 研修会：「看護師のためのストレスマネジメント」 講師：水田真由美先生、百々尚美先生 通常総会の反省	演習もあり、「自身のストレスの程度も把握できた」「もっと聞きたかった」など、高い評価を得ることができた。
地区支部役員会	平成19年7月25日 日赤和歌山医療センター	役員	6名	通常総会の反省・老人看護月間について 看護協会への要望・ナース草のとりまとめ	
第1回 施設会員代表者会議	平成19年8月10日 日赤和歌山医療センター	施設会員代表者 役員	33名 5名	平成19年度事業の取り組みについて 平成19年度法人会員の報告について 新看護研修センター建設について	看護を取り巻く状況を認識する機会となった
地区支部役員会	平成19年8月22日 日赤和歌山医療センター	役員	6名	老人看護月間の打ち合わせ準備 第2回研修会について	
老人看護月間	平成19年9月8日 県立図書館 イベントホール	一般市民 役員 協力員	110名 7名 3名	血圧測定・骨密度測定・体脂肪測定 身長体重測定・血管年齢測定など	測定後の説明・指導も行うことができ好評であった。

行事名	開催日・場所	対象者	参加者数	行事内容	その他(参加者の反響・主催者の感想)
地区支部役員会	平成19年9月8日 県立図書館	役員	7名	老人看護月間の反省会 第2回研修会について	
第2回研修会	平成19年9月22日 プラザホープ 4階ホール	役員	131名 8名	第2回研修会 「環境からみた摂食・嚥下支援」 講師：北出真則先生	実践に役立つ内容であり、好評を得た。 質疑応答も活発であった。
地区支部役員会	平成19年9月22日 プラザホープ	役員	8名	第2回研修会の評価 連盟との合同研修のテーマの検討	地区支部事業計画に沿って円滑に事業を進められるよう協議・検討をおこなった。
地区支部役員会	平成19年11月14日 済生会和歌山病院	役員	6名	平成20年度の年間行事の検討 通常総会について、理事会報告	
地区支部役員会	平成19年12月12日 済生会和歌山病院	役員	7名	通常総会について、監事への報告 来年度の計画について	
地区支部役員会	平成20年1月23日 済生会和歌山病院	役員	6名	来年度の計画について 研修会検討・新役員の依頼	
地区支部役員会	平成20年2月20日 済生会和歌山病院	役員	6名	通常総会・研修会について・代議員の選出 協会長表彰の依頼	
「新研修センター建築について」の説明会	平成20年2月20日 済生会和歌山病院	施設代表者 個人会員 役員	34名 3名 6名	新研修センター建築についての経緯の説明 質疑応答	「現状を認識する機会となった」「疑問を解決する機会となった」などの意見もあった。
看護連盟・協会合同研修会	平成20年3月15日 プラザホープ 4階大ホール	役員	138名	研修会 「笑いヨーガで...一時を」講師：太田昭弘先生 「緊急時の対応」講師：芝田里花	
第2回施設代表者会議	平成20年3月21日 済生会和歌山病院	施設代表者 役員	25名 5名	新看護研修センターについて 平成19年度看護協会事業の経過 平成20年度看護協会事業に向けて	
地区支部役員会	平成20年3月26日 済生会和歌山病院	役員	6名	「まちの保健室」について 通常総会・研修会について	

海南・海草地区支部

支部長 川崎 貴美子

行事内容

行事名	開催日・場所	対象者	参加者数	行事内容	その他(参加者の反響・主催者の感想)
支部役員会	平成19年4月17日(火) 海南市民病院	役員	9名	・看護週間行事、研修会及び総会の開催について ・看護協会長表彰の推薦について ・1日まちの保健室について	
1日まちの保健室	平成19年5月12日(土) とれたて広場	一般	120名	・健康相談(生活習慣病) ・骨密度、血圧、体脂肪測定	家庭で測定出来ない骨密度が大人気で、結果数値の低い方には栄養指導を、生活習慣病予防とウォーキング効果などの健康相談も行い好評でした。
支部役員会	平成19年6月19日(火) 海南市民病院	役員	10名	・総会の運営について ・研修会の開催について ・老人看護月間行事について ・1日まちの保健室の反省	
研修会	平成19年7月7日(土) 海南市保健福祉センター	役員	136名	講演「音楽療法～医療現場からの報告～」 講師 音楽療法士 高本 恭子先生	常に患者様の安全と安心を中心に日常業務に取り組んでいるところですが、この講演を機に「癒し」を現場に展開していきたいと思いました。
総会				・平成18年度事業報告・決算報告 ・平成19年度事業計画案・予算案	
第1回施設代表者会議	平成19年8月9日(木) 海南保健所	施設代表者 役員	12名	・平成19年度和歌山県看護協会事業について ・法人会員の報告 ・第七号議案について	
支部役員会	平成19年9月18日(火) 海南保健所	役員	9名	・老人看護月間行事と健康まつり参加について ・総会・研修会の反省 ・次回支部研修会について	
海南市健康まつり	平成19年10月14日(日) 海南市保健福祉センター	一般	165名	・脳の老化度チェック 豆つかみ、かなひろいテスト 目かくし足ふみ運動	健康まつりでの「脳の老化度チェック」は、地域にしっかり根ざしてきています。大人も子どもも楽しんで頂けました。
支部役員会	平成19年11月20日(火) 海南保健所	役員	10名	・健康まつりの反省 ・研修会の運営について	
研修会	平成19年12月1日(土) 県子ども・障害者相談センター	役員	114名	講演「ガンが病気じゃなくなったとき」 講師 岩崎 順子 先生	肺ガンに罹患した夫と共に、在宅で最期まで闘ったその日々のすまじさに心が締め付けられました。
臨時施設代表者会議	平成20年1月8日(火) 海南保健所	施設代表者 役員	18名	・新看護研修センター建設について	
支部役員会	平成20年2月19日(火) 海南保健所	役員	7名	・研修会の反省 ・総会・研修会について ・看護週間行事について(1日まちの保健室)	
第2回施設代表者会議	平成20年3月18日(火) 海南保健所	施設代表者 役員	13名	・新看護研修センターについて ・平成19年度和歌山県看護協会事業報告 ・平成20年度和歌山県看護協会事業について	

有田地区支部

支部長 野村 眞佐子

行事内容

行事名	開催日・場所	対象者	参加者数	行事内容	その他(参加者の反響・主催者の感想)
まちの保健室	平成19年5月13日(日) オークワ箕島店	役員 員	17名 201名	(テーマ) メタボリック症候群の予防と健康指導 健康相談・体脂肪検査・腹囲測定 血圧測定・記念グッズ配布 子供の記念写真(看護師の格好)	若い参加者からは、「メタボリック症候群のことがよくわかった。パンフレットを家で親にみせませう。」の反応があり、好評だった。看護師の格好での記念撮影も「かわいい。」と大好評だった。
平成19年度支部総会	平成19年6月16日(土) 湯浅保健所	会員	85名	1) 平成18年度事業報告・決算報告 2) 平成19年度事業計画案・予算案	地区支部の1年間の活動を報告するとともに、新年度の事業計画について説明した。アンケートにより、会員の要望等を把握できた。
第1回支部研修会	平成19年6月16日(土) 湯浅保健所	会員	85名	「嚥下障害」 済生会有田病院 リハビリテーション科部長 角谷直彦先生	内視鏡検査やレントゲンの造影をみなからの解剖生理・訓練の方法・口腔ケアの重要性を学び、「実際の看護に役立つ。」「嚥下の実際がよく理解できた。」と参加者に好評だった。
第1回施設会員代表者会	平成19年8月9日(木) 済生会有田病院	施設会員代表者 役員	11名	1) 平成19年度和歌山県看護協会事業について 2) 看護協会法人会会員の報告 3) 第七号議案 4) 意見交換	日本看護協会の事業計画や看護を取り巻く動きなどが理解できた。地区支部の実態を県協会に直接伝える機会として有意義である。会長より、新看護研修センター建設についての経緯と今後の取り組みの説明があった。
支部役員会	平成19年8月8日(火) 済生会有田病院	役員	10名	1) 第1回の研修会の反省 2) 老人月間行事について 3) 支部研修会について	
老人月間行事	平成19年11月3日(金) 広川町	役員 員	17名 232名	血圧測定・体脂肪測定 保健相談・記念写真	今回は、比較的若い方の参加もあり、賑やかであった。
支部役員会	平成19年12月14日(金) 済生会有田病院	役員	9名	1) 看護連盟合同研修会 2) 第2回地区支部研修会 3) 老人月間の反省会 4) その他	看護協会建設の預託金について、理事会での報告があり、今後有田地区支部としてどのように取り組んでいくか、話し合った。
看護連盟・看護協会合同研修会	平成20年1月26日(土) こころの医療センター	会員	60名	「あなたの方で現場はかわる」 日本看護連盟常任幹事 阿津公子先生	看護の現場からの内容で、熱心に講師の話に聞き入り、看護職として何をすべきなのか、深く考えさせられた。
第2回支部研修会	平成20年2月16日(土) こころの医療センター	会員	66名	看護研究発表会 演題9題	アンケート結果では、「興味を持って」と75%の参加者が答えており、「来年も行って欲しい。」「他病院の情報や研究の取り組みがよく分かった」などの意見が寄せられた。
支部役員会	平成20年2月16日(土) こころの医療センター	役員	9名	1) 1日まちの保健室の日程 2) 20年度支部総会の日程 3) 会館建設の預託金について	
第2回施設会員代表者会	3月18日(火) 済生会有田病院	施設会員代表者 役員	11名	1) 20年度活動方針 2) 支部からの要望等 3) その他	
支部役員会	3月18日(火) 済生会有田病院	役員	10名	1) 1日まちの保健室について 2) 看護研究発表会の振り返り 3) 20年度総会について 4) 20年度支部体制について 5) 20年度事業計画 6) その他	

日高地区支部

支部長 田口 佳美

行事内容

行事名	開催日・場所	対象者	参加者数	行事内容	その他(参加者の反響・主催者の感想)
看護の日1日まちの保健室	平成19年5月20日(日) 北出病院 アクオ	地域住民 役員	179名	健康チェック：身長・体重・体脂肪・血圧測定 保健師による健康相談、子供の白衣体験	多くの地域住民に参加していただいた。子供の白衣体験数が少なく残念であった。
第1回役員会	平成19年5月20日(日) 北出病院 アクオ	役員	7名	1) 看護の日「1日まちの保健室」の反省 2) 平成19年度総会・第1回地区支部会員研修について	
平成19年度地区支部総会	平成19年6月30日(土) 北出病院 アクオ	会員	90名	1) 平成18年度活動報告・決算報告 2) 平成19年度事業計画案・予算案	
第1回地区支部会員研修	平成19年6月30日(土) 北出病院 アクオ	会員	90名	講演「がん性疼痛を有する患者家族への看護」 講師 独立行政法人 国立病院機構 近畿中央胸部疾患センター がん性疼痛看護認定看護師 日保ヒサ先生	がん性疼痛認定看護師の役割や支持・緩和療法チームの活動、最新のがん性疼痛看護の情報など多くの学びを得た。
第2回役員会	平成19年6月30日(土) 北出病院 アクオ	役員	7名	1) 総会および第1回地区支部会員研修の反省 2) 代議員選出に関する協議	
第1回地区施設会員代表者会	平成19年8月27日(月) 北出病院 アクオ	施設会員代表者 役員	12名	1) 平成19年度日本看護協会・県看護協会の活動方針 2) 新看護研修センター建設に関する協議	
第3回役員会	平成19年10月3日(水) 北出病院 アクオ	役員	7名	1) 平成19年度看護月間行事に関する協議 2) 代議員選出方法に関する協議	
看護月間行事	平成19年10月28日(日) 日高川町 天文公園	地域住民、役員 北出病院 看護師	52名	健康チェック：身長・体重・体脂肪・血圧測定 保健師による健康相談	会場が屋外であったことと娯楽性の高い催しであったことから健康チェックという雰囲気にならず参加者が少なかった。
第4回役員会	平成19年10月28日(日) 日高川町 天文公園	役員	7名	1) 看護月間行事の反省 2) 第2回地区支部会員研修に関する協議	

行事名	開催日・場所	対象者	参加者数	行事内容	その他(参加者の反響・主催者の感想)
施設会員代表者会	平成20年1月15日(火) 北出病院 アクオ	施設会員代表者	7名	新看護研修センター建設に関する協議	12月13日の理事会資料をもとに、各施設会員の意見をもちよってもらい協議した。
看護連盟・看護協会合同研修会	平成20年2月3日(日) 北出病院 アクオ	会員 非会員	76名	講演「末期がん患者の心のケア」 講師 六甲病院チャプレン カウンセラー 沼野尚美先生	現場ですぐに活かせるような話の内容だったことから大変有意義な研修となった。会員からもう一度講演を聴きたいという希望があった。
第5回 役員会	平成20年2月3日(日) 北出病院 アクオ	役員	6名	1) 看護連盟・看護協会合同研修会の反省 2) 平成20年度看護の日「1日まちの保健室」について協議	
第2回 地区施設会員代表者会	平成20年3月21日(金) 北出病院 アクオ	施設会員代表者 役員	11名	1) 新看護研修センターについて 2) 平成19年度和歌山県看護協会事業報告 3) 平成20年度和歌山県看護協会事業に向けて	

## 田 辺 地 区 支 部

支部長 河野 佐和子

### 行事内容

行事名	開催日・場所	対象者	参加者数	行事内容	その他(参加者の反響・主催者の感想)
看護の日 1日まちの保健室	H19年5月12日(日) オーシェー田辺店	地域住民 役員	157名 11名	①血圧測定 ②体脂肪測定 ③健康相談 ④看護の日PR グッズの配布	・毎年同じ場所を借りて行うため楽しみにしている。 ・気軽に健康相談ができ、指導も行ってくれるので嬉しいと好評。
地区支部役員会	H19年5月29日(火) 田辺市民総合センター 4階会議室	役員	10名	①理事会報告 ②1日まちの保健室反省 ③H19年度田辺地区支部総会・学習会について	
地区支部総会	H19年6月16日(土) 紀南病院3階講堂	会員	105名	平成19年度田辺地区支部総会	・議事はすべて承認された。
第1回学習会	H19年6月16日(土) 紀南病院3階講堂	会員	105名	テーマ：災害看護について 講 師：日本赤十字社和歌山医療センター 副看護部長 高津壽美先生	・体験談・災害防止について興味深く学習できた。 ・熱心に講義を受講し、いろいろな質問がでた。
第1回 施設会員代表者会議	H19年8月27日(月) 田辺市民総合センター 4階会議室	施設会員代表者 役員	10名	①平成19年度和歌山県看護協会事業について ②平成19年度第2回法人会報告について ③意見交換	・厚労省・県の動向が明確に把握できた。
地区支部役員会	H19年8月27日(月) 田辺市民総合センター 4階会議室	役員	10名	①理事会報告 ②平成20年度看護協会運営並びに事業に対する提案・要望事項について ③連盟・協会の合同研修会について ④第1回学習会の反省 ⑤第2回学習会について ⑥看護月間行事について	
看護月間行事 (1回)	H19年10月28日(土) 白浜町青少年センター	地域住民 役員	209名 11名	・健康チェック血圧測定 体脂肪測定 ・健康相談	・晴天に恵まれて大勢の参加があった。 ・自分の健康状態に関心が深く、疾病予防をしている人が多い。
看護月間行事 (2回)	H19年11月25日(土) 日置中学体育館	地域住民 役員	150名 11名	・健康チェック血圧測定 体脂肪測定 ・健康相談	・自分の健康状態に関心が深く、疾病予防をしている人が多い。
第2回学習会	H19年11月17日(土) 南和歌山医療センター	会員	83名	テーマ「今こそ看護のやりがい」 講 師：聖マリアンナ医科大学病院 看護部長 陣田 恭子先生	
地区支部役員会	H19年12月17日(月) 田辺市民総合センター	役員	10名	①理事会報告 ②看護研究発表会について ③看護協会・連盟合同研修会	
地区支部施設代表者会議	H20年1月16日(水) 田辺市 Big U	施設代表者	26名	新看護研修センター建設について	・さまざまな意見や質問事項などが出た。
看護連盟・協会合同 研 修 会	H20年2月16日(土) 南和歌山医療センター	会員	68名	テーマ：あなたで現場は変わる ～安全・安心な看護の提供のために～ 日本看護連盟常任幹事 阿津公子先生	
看護研究発表会	H19年3月1日(土) 紀南病院 3階講堂	役員 会員	83名	講師：紀南病院 宮本美子先生 ①嚥下障害のある高齢者への援助 嚥下運動が再獲得でき退院に至った一症例 社会保険紀南病院 林千恵子 ②女子閉鎖病棟における気分転換への取り組み 紀南こころの医療センター 原 美樹 ③若くして脳出血を発症した患者の精神的援助について 国保すさみ病院 後地優子 ④「ヘルスアップ事業(特定保健指導)を実施して」 上富田保健センター 栗栖順子 ⑤看護師の身体拘束に対する意識統一に向けて ～委員会活動を通して～ 玉置病院 寺山 悦 ⑥認知症・誤嚥性肺炎で経管栄養から経口 摂取確立までの経過と評価 訪問看護ステーションエンゼル 岡田みどり	・今回で第6回目の研究発表会を開催した。 ・参加者の皆さんが熱心に聞き、さまざまな質問が出た。
第2回 施設会員代表者会議	H20年3月27日(木)	施設会員代表者 役員	18名	①新看護研修センターについて ②19年度和歌山県看護協会事業経過報告 ③20年度和歌山県看護協会事業に向けて	

行事内容

行事名	開催日・場所	対象者	参加者数	行事内容	その他(参加者の反響・主催者の感想)
1日まちの保健室	平成19年5月13日(日) ペアンティ オークワ新宮店	会 員 一般住民	11名 300名	1) 血圧測定 2) 体脂肪測定 3) 呼吸一酸化炭素濃度測定 4) 看護協会パンフレット・グッズ配布	この行事は毎年恒例で、開催場所も一定のところをお願いしているため、「去年も利用した」と言っていただけになりました。今後も地域の中で看護職をアピールする機会としていきたいと考えています。
施設代表者会議	6月11日(月) 新宮市立医療センター	地区支部 施設代表者 役	11名	1) 平成18年度支部事業報告 2) 平成19年度支部年間計画について 3) その他	研修センター建設について各施設の現状を聞く
新宮・串本地区 支部総会	6月16日(土) 新宮市立医療センター	会 員	68名 委任状提出 183名	1) 平成18年度事業報告・決算報告 2) 平成19年度事業計画(案) 並びに予算(案)について 3) 支部運営について	議事承認
第1回研修会	6月17日(土) 新宮市立医療センター	会 員	68名	「看護職に求められるビジネスマナーのあり方」 講師 大原義子先生 (大原マネジメント研究所)	医療現場で遭遇する場面を想定し身体全体で表現する方法を教わり、少し手を添えて「こちらです。」と言うだけで相手は安心し気持ちよく応じ良いコミュニケーションが取れることを改めて感じました。
第1回 施設会員代表者会	8月17日(金) 那智勝浦町立温泉病院	施設会員代表者 支部役員	9名	1) 平成19年度和歌山県看護協会事業について 2) 平成19年度第2回法人会員の報告について 3) 第7号議案について 4) 意見交換	大事な研修は2回に分けても田辺地方で開催してほしい。
老人看護月間行事	11月4日(日) 太地町(くじら祭会場)	会 員 一般住民	9名 236名	1) 血圧測定(103名) 2) 体脂肪測定(121名) 3) 呼吸一酸化炭素濃度測定(12名)	看護協会用テントの準備など主催者側の全面的な協力をいただきました。漁港内広場で開催され町内外より多数の参加があり、多くの方に看護協会のアピールができました。
福 祉 フ ェ ア	12月23日(日) 太地町多目的センター	会 員 一般住民	4名 88名	1) 血圧測定(40名) 2) 体脂肪測定(48名)	「お互いの助け合い、障害者の社会参加の場の提供」を目的とした事業に初めて参加させていただきました。
役 員 会	平成20年1月11日(金) 串本病院	支部役員	5名	研修会打ち合わせ	
役 員 会	平成20年1月17日(木) 串本病院	支部役員	5名	研修会の準備	
第2回研修会	平成20年1月19日(土) 那智勝浦町福祉健康センター	会 員	55名	第2回研修会 「看護者の倫理綱領から導かれる看護実践を考える」 講師：天野雅美先生	倫理綱領を実践でどのように活かしていくかをわかりやすく解説。それぞれの現場で抱えている問題、ジレンマ等の質問に答えていただきました。
第2回 施設会員代表者会	平成20年3月24日(月) 那智勝浦町立温泉病院	施設会員代表者 支部役員	13名	・新看護研修センターについて ・平成19年度和歌山県看護協会事業報告 ・平成20年度和歌山県看護協会事業について	

保健師のコーナー

保健師職能委員 岩本多代

川口委員長を始め7名の委員で今年度は、18年度から取り組んでいる「災害保健活動マニュアル」策定を終了することができました。策定するにあたり「人と防災未来センター」の見学に行かせて頂きました。その中で、常に保健活動の中で地域のキーとなる人の把握や、人と人を繋げていくことの大切さ、又災害時の初期対応をどう進めていくかにより減災に繋がることも認識しました。

さて、協会加入率の低下が問題となっている件ですが、私の職場でも1/3以下です。日本看護協会は個人の資質の向上だけでなく、各々の意見を集約して、県・国等に意見を掲げ、看護職の地位・

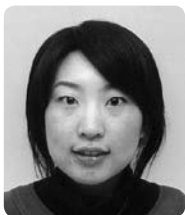
資質の向上、体制整備、環境整備等政策化していける団体であると思います。しかし、各職場においては「業務の多忙のため協会活動できない」ので加入しないとの声も聞かれます。

又、看護研修センターの建設問題があり、退会者が出ないか危惧するところです。今なぜセンター建設が必要なのか？何の目的で建設するのかを充分協議して多くの会員の賛同のもと建設をする必要があると思います。

あと数ヶ月で職能委員も終わろうかとしています。委員活動の中で得られた知識を職場内で生かしていきたいと思っています。又、今後とも会員様には委員会活動にご協力をお願いします。

助産師のコーナー

和歌山労災病院 大川知子



助産師職能委員の活動に参加させていただき、もうすぐ2年になります。この2年の間に産科医療に関する注目は増し、助産師の役割や活動が注目されています。

病院に勤務する私にとって助産師職能での活動はとても刺激になりました。他施設の助産師との出会いもそうです。経験豊かな先輩助産師たちが「助産師の力」を存分に発揮され、活躍されている姿には感銘を受けました。助産師職能委員の活動の中

では、中高生を対象に行う思春期保健指導が印象に残っています。毎日のように暴力や殺害、虐待などのニュースが報道され、あまりに命を軽視した行動が心を痛めます。生命の重さや大切さを毎日、肌で感じている助産師だからこそ伝えられるメッセージがあるのではないかと思います。

助産師職能委員の活動を通して、地域や他施設の方とのネットワークを築くことの大切さと、社会の流れを敏感に感じニーズに応じられる知識や技術を身に付けなければならないことを痛感しています。安心して安全で満足のいく妊娠・出産・育児の支援ができる助産師を目指し研鑽を重ねていきたいと思っています。

「二月は逃げる三月は去る」とはよくいったもので、気づけばもう桜の季節になり、新人看護師をやっとなんとかやり立ちさせたとしたら、息つく間もなくまた「新人さん」がやって来ました。看護協会ニュースに「看護基礎教育のあり方に関する懇談会」のことが掲載されていました。看護における臨床と教育の乖離が言われて久しいですが、どの施設も新人看護師の看護実践能力の獲得にはさまざまな対策を立て臨んでおられることでしょうか。皆さんは「看護におけるユニフィケーション」をご存じでしょうか。私はつい先日知ったばかりですが、看護サービスと教育および研究の責任を一つの管理組織に所属させることを意味し、1. 学生

に現実的プログラムを提供する 2. 看護実践の向上と患者ケアの改善を図る 3. 適切な臨床研究を刺激する の3つの目的を実現するために立案されたモデルです。医学部の教員は今まさに現場で臨床実践者としても活動している人達ですが、看護学では学校の教員は臨床実践からは離れ、臨地での指導は全く別組織の別の者が担当します。このギャップを解決していくためにもユニフィケーションモデルは重要な意味を持っているのではないのでしょうか。貴重な看護師のたまごやひよこ達を、大切に育てるためにも看護の教育・臨床の場にユニフィケーションは必要だなと感じる今日この頃です。

## リレーエッセイ 友達の輪 NO.24

### 「日本史の再学習」



済生会和歌山病院 川崎 伸造

最近ひよんなことから日本史を勉強しなおしています。「チャングムの誓い」ってご存知でしょうか？その中で倭の国では針で魚に麻酔をかけて保存しているのを応用して、チャングムが人体に麻酔をかけて手術しようという場面がありました。調べるとその頃日本は室町時代でしたが、さらに興味が出て、昔の高校日本史の教科書を読むようになりました。テストのために読むのとは違って、新たな発見があったりと結構楽しいものです。

(次回は、南和歌山医療センター 榎山節子さんです)

## 私の○○○

### 私の あっちゃん 奮闘記



奥村 佳代子

看護師になる前、私はハンディキャップを持つ人たちの授産施設で働いていました。そこで出会ったのが、自閉症の女の子 あっちゃん(仮名)です。

体重 80kg 超えの体格の持ち主ですが、いつもタオルを口にあて、右手をペンギンさんのようにふりふりしながら、いろんな声を出しては喜ぶ、愛すべき女の子でした。

同一性にこだわり、新しいことが苦手で、人とのコミュニケーションがとりにくい自閉症・・・やっかいなのが生理でした。パンツはグンゼの3Lと決まっておき、生理になると、径血で汚れたパンツを便槽(汲み取り式でした)の中に捨てて出てきます。それを毎回専用の棒で拾い上げ、洗ってはお母さんにお返しする。その繰り返しでした。そんなあっちゃんですから、健康管理には問題が山積みです。

障害に対応できる知識や技術が欲しい。どんな障害があっても安心して受診できる病院があれば・・・そんな理想を胸に、私は看護師を目指したのでした。

## 〜〜〜 東洋羽毛のサービス 〜

- リフォーム …………… 古くなったお布団を、新品同様にリフレッシュします。羽毛は、きれいに洗浄して、新しい生地に詰め替えます。また、使わなくなったダブルを、シングルなどに、作り替える事も出来ます。
- 補修・お直し …………… 穴が空いてしまったり、破れてしまった時は、補修します。
- クリーニング …………… 大きなお布団を、クリーニング店まで持って行く必要はありません。宅急便で、ご自宅まで取りに伺います。
- 特別注文 …………… 製造メーカーなので、ご希望のサイズのお布団を作ります



**※お布団の事なら、何でもご相談下さい。**

社団法人 和歌山県看護協会 推薦  
東洋羽毛関西販売(株)

和歌山営業所 〒6408329和歌山県和歌山市田中町2-18-1-2F  
フリーコール 0120-32-7766  
ホームページアドレス http://www.toyoumo.co.jp  
大阪営業所 〒564-0062大阪府吹田市垂水町3-8-13  
フリーコール 0120-88-2104

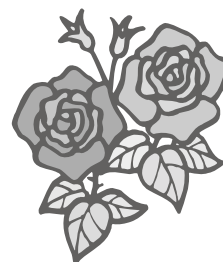
# My Hospital



## 医療法人 曙会 和歌浦中央病院

医療法人曙会和歌浦中央病院は昭和 30 年に開設され、平成 17 年 11 月に増改築し、病床数 165 床（一般・療養病床）の病院です。診療科は内科（消化器・循環器・血液・神経）外科、泌尿器科、整形外科、眼科、リハビリテーション科、血液透析、健康管理センター、平成 20 年 4 月には小児科も開設予定です。老健施設「和歌川苑」・訪問看護ステーション「コスモス」・居宅介護支援事業所「たんぽぽ」と連携し地域の皆様のお世話をさせていただいています。

屋上庭園からの眺めは和歌浦を一望出来、春には紀三井寺・秋葉山の桜・秋には紅葉が見事です。“笑顔と明るさ・真心を込めた温かい看護を目指して”を看護部の理念としてお花見会、音楽会等ボランティアの方々のご協力のもと開催しています。今後も“親しまれ、信頼され、選んでいただける病院を目指して”努力して行きたいと思えます。



## 摂食・嚥下障害看護について

独立行政法人 労働者健康福祉機構 和歌山労災病院

摂食・嚥下障害看護認定看護師 **橋本 真由美**

摂食・嚥下とは、先行期、準備期、口腔期、咽頭期、食道期の5期に分類され、そのどこかに障害をきたすことを摂食・嚥下障害といいます。

普段、「今度、何を食へに行く？」等と会話をしませんか？「食べる」という行為は、栄養補給する手段ではなく、精神生活や社会生活を豊かにする行為です。

摂食・嚥下障害をきたした人には、窒息、誤嚥性肺炎、低栄養、脱水等の合併症のリスクとともに、食べる楽しみの喪失というQOLに影響する大きな問題があります。

看護師は交替勤務をしているため、同じ人が同じ手技でケアを提供するには限界がありますが、24時間ベッドサイドにいるという強みがあります。例えば、吸引をする際にいつもより舌の動きが良くなっている等、観察力を働かせ、リスク管理をして急性期から嚥下へアプローチすることができると考えています。

現在、私は週1回、病棟の枠を越えて横断的に活動しています。少しでも安全に「口から食べる」を目標に各病棟看護師と取り組んでいます。



公立那賀病院 摂食・嚥下障害看護認定看護師 **寅本 里奈**

『胃瘻が最終手段になってはいけない』この言葉に胸を打たれ、看護の立場から患者様に関わりたいと考え、摂食・嚥下障害看護認定看護師の資格を取得しました。患者様と一番関わりが深い看護師が、『口から食べたい』と願う患者様の思いに答えられるのではないのでしょうか。経口摂取は口腔・咽頭ケアが出来、誤嚥性肺炎の予防や吸引回数の減少にもつながります。人間にとって食べる意義をもう一度考え、病院中から絶食患者様を減らしたいと考え嚥下チームを中心に活動しています。患者様との関わりには時間を要しますが、1個のゼリーを食べた時の患者様・御家族の喜びは大きく忘れることが出来ません。

『すべての人に口から食べられるチャンス』を合い言葉に全国で認定看護師が活動しています。施設・病院の職員様でお困りのこと、勉強会の依頼等ありましたら那賀病院看護部まで御連絡下さい。また、多職種が講師で月に1度勉強会を開催しています。誰でも自由に参加できますのでお待ちしております。

# 和歌山県看護協会の動き

## 運営に関する会議

### 第5回常務理事会

開催日時 平成20年2月5日(火) 13:30～17:00

内容

#### 1. 協議事項

##### 1) 20年度事業計画案について審議

基本的な考え方

- ①和歌山県看護協会のあるべき姿と看護連盟との関係について
  - ②和歌山県における看護の課題について
  - ③平成20年度事業計画案の策定方針
    - ・19年度事業の実績を評価
    - ・各地区支部・職能から要望・提案事項から
    - ・平成20年度からの医療制度・介護保険制度改革に伴う実施、診療報酬の改定、厚労省医政局長通知、看護基礎教育カリキュラム改正等社会の動きから
    - ・日本看護協会の動き
    - ・和歌山県の新たな「保健医療福祉計画案」より
- 以上の視点から看護職として看護職能団体として社会的使命を果たすための事業計画として提案し、意見があれば審議の結果承認する。

##### 2) 新看護研修センターについて各職能委員会や各地区支部での検討の結果について情報から意見交換をする。

- ①保健師職能では建設への反対者が多く会員が5%減少する。
- ②看護師職能では職能委員会で説明し賛同は得られている。
- ③看護職のレベルアップは地域の医療のレベルアップにつながる。
- ④平成19年度通常総会要綱に検討結果を詳細に記載すべきであった。
- ⑤Q & Aについて会員に周知すべきである。
- ⑥アンケート調査について内容も含めて検討する余地がある。平成20年度通常総会に理事会として方針を出して臨む。

### 第6回 常務理事会・理事会

開催日時 平成20年3月28日 10:00～17:00

#### 1. 報告事項

- 1) 県看護協会平成19年度事業の実施状況について予定通り終了した。
- 2) 災害保健師活動マニュアルの作成と配布について
- 3) 平成20年度教育計画について各会員へ配布済み
- 4) 平成20年度通常総会への参加案内について

- 5) 看護職専用の「所得サポート保険」について  
疾病による長期就業不能時の所得保障をサポートする保険について
- 6) 日本看護協会職能委員長会議の報告  
保健師、助産師、看護師職能委員長から報告する。

#### 2. 協議事項

- 1) 平成20年度事業計画(案)について
  - ・平成20年度スローガン(案)・重点事業(案)について
  - ・スローガン(案)「激動の時、看護の力を強化・結集し県民の期待に応えよう」
  - ・平成20年度事業計画(案)(教育計画を含む)について
- 2) 平成20年度予算(案)について
- 3) 新看護研修センターについて
  - ・資金計画と返済計画について事務長が説明。
  - ・各地区支部での検討した結果について報告、情報交換する。
  - ・預託金制度と返済計画について再度詳細に説明する。

#### 【意見】

- ・会員が減少した場合どうするか
- ・経過について、毎年総会で経過報告し、承諾を得る。
- ・会員が減少しないよう努力し、寄付も募っていく。
- ・候補地について、経過を説明し、会員の協力が得られるように働きかける。
- ・継続審議になった結果、時間をかけ検討したため理解者が増えたのではないかと。
- ・総会で2回も継続審議になることは避けたい。
- ・総会での議決は会員の半数以上の賛成が得られることになっている。
- ・委任状について、信頼できる委任状にする必要があり、他の団体、他県の状況から検討する。
- ・総会の議長は執行部に一任する。
- ・総会に提出する資料は、「預託金制度について」、「新看護研修センター建設資金計画(案)」、「預託金返還計画(案)について」以上の意見を聞いて、平成20年度通常総会に上程することを承認。

#### 3. その他

- 1) 和歌山県看護協会会長表彰について  
各職能委員会、各地区支部から1名、ただし和歌山地区支部は2名として、選考の結果10名に決定し承認。
- 2) 次期会長候補として推薦委員会から木村佐多子さんが推薦され、本人承諾が得られていることを報告し承認。
- 3) 常任理事候補として葛葉まささんを選挙から推薦することを承認。

## 会員の皆さまへのお知らせ

### ● 寄 付

那智勝浦町立温泉病院

前総看護師長 岡崎 寿美恵 様より

ご厚志 金 10万円

### ● 看護協会からのお知らせはFAXで送信させていただきます。

迅速に必要な情報を伝えるためと事務効率を考え、会員の皆さまへのお知らせはFAXで送信いたします。FAX使用に際しては、個人情報保護に関する規定を遵守し、個人情報保護に努めますのでご理解ください。